

# 2022年度 事業報告書

---

2022(令和4)年4月1日～2023(令和5)年3月31日



学校法人 聖マリアンナ医科大学

## 建学の精神

キリスト教的人類愛に根ざした「生命の尊厳」を基調とする  
 医師としての使命感を自覚し、人類社会に奉仕し得る人間の育成、  
 ならびに専門的研究の成果を人類の福祉に活かしていく医師の養成

年 月 日	学 校 法 人 の 沿 革 ( 概 要 )
1971年1月27日	学校法人東洋医科大学設置認可
1971年4月1日	東洋医科大学開学(入学定員80名)
1972年7月1日	中央電子顕微鏡研究施設設置
1973年4月1日	聖マリアーナ医科大学に改称(入学定員を100名に増員)
1973年6月11日	中央実験動物飼育管理研究施設設置
1974年2月12日	大学病院(本館)開院
1976年1月1日	共通放射能基礎医学研究施設設置
1977年3月30日	大学院医学研究科設置認可
1977年4月1日	大学院医学研究科開学(入学定員60名)
1979年3月24日	看護専門学校設置認可
1979年4月1日	看護専門学校第1、2看護学科開校(入学定員40名)
1980年7月1日	大学病院(別館)開院
同	救命救急センター開設(大学病院)
1980年10月14日	視聴覚教育センター設置
1983年7月9日	メディカル・フォトセンター設置
1986年4月1日	看護専門学校第1看護学科(入学定員を80名に増員)
1987年5月25日	横浜市西部病院開院
1988年3月31日	看護専門学校第2看護学科課程廃止
1988年7月6日	MR棟開設
1988年12月26日	大学院附属研究施設設置
1990年10月4日	附属研究所(難病治療研究センター)開設
1993年11月26日	大学病院特定機能病院承認
1994年5月16日	夜間急患センター開設(大学病院)
1995年9月1日	看護専門学校の看護専門課程より医療専門課程に名称変更
1996年10月5日	特別教育施設「聖堂」献堂
1997年4月1日	医学総合情報センター(図書館、視聴覚センター、メディカル・フォトセンター)の3施設を統合開設
1997年11月1日	大学病院臓器別外来診療体制へ移行
1999年4月1日	6講座の統廃合(大講座制に改組)
2001年4月1日	医学教育改革により、教育改革推進室を新設。学務部と医学総合情報センターの一部を整理統合し、教学部に改組
2001年8月1日	医学総合情報センターを医学情報センターに名称変更
2003年4月1日	講座及び科目目の再編成、大学組織改革及び事務組織の再編成
同	臨床研修センター設置(大学病院)
2003年6月25日	昭和薬科大学と教育・研究の交流に関する協定を締結
2004年11月1日	知財事業推進センター開設
2005年4月1日	大学院医学研究科の4専攻を医科学系専攻に統合し名称変更
同	大学基準協会認証評価認定
2006年2月1日	川崎市から指定管理者として指定を受け川崎市立多摩病院開院
2007年1月22日	日本医療機能評価機構認定
2008年2月6日	機械棟(エネルギーセンター)開棟
2008年4月1日	教育棟開棟
2008年6月16日	東横病院新規開院
2008年11月1日	附属研究所プレスト&イメージング先端医療センター開設
2009年2月1日	キリスト教文化センター開設
2009年3月2日	附属研究所プレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック開院
2009年4月1日	医学部の入学定員を110名に増員し収容定員を660名に改変
2010年4月1日	医学部の入学定員を115名に増員し収容定員を690名に改変

年 月 日	学 校 法 人 の 沿 革 ( 概 要 )
2011年4月1日	総合教育センター開設
2011年12月16日	高神大学医学部(韓国 釜山)と医学教育交流プログラムに関する協定を締結
2012年4月2日	マリアンナさくら保育園開園
2013年7月3日	明治大学との大学間交流に関する包括協定を締結
2013年11月13日	学校法人東京純心女子学園との相互連携に関する合意文書を締結
2014年4月22日	上智大学と大学間交流に関する包括協定を締結
2015年1月26日	江原国立大学医学部(大韓民国)との大学間交流に関する協定を締結
2015年4月1日	男女共同参画キャリア支援センター開設
2015年4月1日	臨床研究データセンター開設
2015年11月9日	同済大学医学院(中国 上海市)と医学教育交流プログラムに関する協定を締結
2016年4月1日	情報部門及びIT戦略推進室設置
2016年7月1日	田園調布学園大学及び川崎市宮前区との連携・協力に関する協定を締結
2016年10月6日	ハワイ大学医学部(アメリカ ハワイ州)との医学教育交流プログラムに関する協定を締結
2017年4月1日	感染症センター開設
2018年3月23日	中央大学との大学間交流に関する包括協定を締結
2018年4月1日	国際交流センター開設
2018年4月1日	メディカルシミュレーションセンター開設
2019年3月11日	国立成功大学(台湾)と大学間交流に関する包括協定等の締結
2019年4月1日	ソウル大学校附属盆唐病院と聖マリアンナ医科大学病院との国際交流協定を締結
2019年6月12日	ハノイ医科大学(ベトナム)との学生交流プログラムに関する協定を締結
2019年8月1日	デジタルヘルス共創センター開設
2019年8月1日	大学医師会設立
2019年10月31日	コンケン大学医学部(タイ)との学生交流プログラムに関する協定を締結
2019年8月1日	看護師特定行為研修センター開設
2020年4月1日	リハビリテーション医学講座、緩和医療学講座開設
2020年6月4日	朝鮮大学医学部(韓国)との学術交流協定を締結
2020年7月30日	NITTE大学(インド)との学術交流協定を締結
2020年8月1日	教学IRセンター開設
2020年12月9日	ピッツバーグ大学との学術交流協定を締結
2021年4月1日	「法務・監査室」を「内部監査室」と改称
2021年6月10日	神奈川県立保健福祉大学と連携協定を締結
2021年10月14日	本学創立50周年
2022年2月28日	「学校法人聖マリアンナ医科大学 ガバナンス・コード」制定
2022年4月1日	教学部「入試課」を設置
2022年4月1日	「総合企画室」を「総合企画部」と改称し、「理事長室」を新設(「企画調査課」は既設)
2022年4月1日	「主任教授」制を導入
2022年4月1日	「男女共同参画キャリア支援センター」を「ダイバーシティ・キャリア支援センター」に改称
2022年6月1日	日本医学教育評価機構(JACME)より「医学教育分野別評価基準」適合認定
2022年11月26日	大学病院入院棟竣工祝福式・内覧会を挙げる
2023年1月1日	大学病院入院棟開院

# 目 次

## I. 法人の概要

1. 法人の概況 .....	1
2. 設置する学校・学部・学科 .....	5
3. 収益事業 .....	5
4. 役員(理事・監事)および評議員関係 .....	5
5. 大学の主な役職者 .....	6
6. 教職員数 .....	7
7. 法人組織図 .....	8

## II. 事業の概要

1. 教育・研究・診療活動の状況 .....	9
1—1 大学病院 .....	11
1—2 東横病院 .....	11
1—3 西部病院 .....	12
1—4 多摩病院 .....	12
1—5 ブレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック .....	12
2. 学生在籍者数 .....	13
3. 入学試験状況 .....	14
4. 国家試験合格状況 .....	16
5. 博士(医学)の学位授与状況 .....	16
6. 補助金交付状況 .....	17
7. 主な施設・設備の更新等 .....	18

## III. 財務の概要

1. 財務の概況 .....	19
2. 学校法人会計 .....	20
3. 収益事業会計(多摩病院) .....	28
4. 附属病院等の状況 .....	29

## I. 法人の概要

### 1. 法人の概況

#### (1) 新たな 50 年に向けて

2022 年 10 月、法人創立 50 周年記念事業の一環として 10 年前より検討を重ねてきた、菅生キャンパスリニューアル計画のステップ 2 に当たる大学病院新入院棟建築工事が竣工し、2023 年 1 月 1 日にオープンしました。ICT 技術を網羅し、多様且つ高次の機能を備えたこの新入院棟は、未来志向型病院を目指す本学医療分野の中核として、これまで以上に地域医療、並びに医療の発展を支えていきます。

今後、同リニューアル計画のステップ 3 及び 4 工程が進捗し、大学病院別館改築工事（外来棟として機能する予定）、エントランス棟建築工事、大学病院本館取壊し工事並びに駐車場及びロータリー整備工事などを経て、2026 年 10 月にグランドオープンする予定です。

組織統制に関しては、組織コンプライアンスが強く求められる社会的環境に鑑み、法令や社会規範に背く行為が法人の信頼を一瞬にして失墜させる致命的な行為であることを教職員一人ひとりに自覚させ、そのような不正行為が組織内で発生することのないよう「ガバナンス・コード」を策定、制定いたしました。今後は、公共性と自主性のバランスの取れた自律的な組織ガバナンスをこれまで以上に強化し、健全な法人運営のもと、強固な経営基盤を築き、時代の変化に対応できる大学として、新たな 50 年を歩んでまいります。

#### (2) 医学部、大学院および看護教育

##### 1) 医学部

2021 年に一般社団法人日本医学教育評価機構（JACME）による医学教育分野別評価を受審し、世界医学教育連盟（WFME）の国際基準に基づく「医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2.32」に適合していることが認定されました（認定期間 2022 年 6 月 1 日～2025 年 5 月 31 日）。

また、2021 年度に発足した「医学教育文化部門あり方検討会」からの答申を受け、医療倫理と行動科学に関して、さらなる充実を図る目的から、2023 年 4 月付で医学教育文化部門に「医療倫理分野」と「行動科学分野」を新たに設置することを機関決定しました。

入学者選抜においては、広報活動の一環として受験生に好評を博していたオープンキャンパスについて、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、参加人数に定員を設けたうえで開催しました。

また、昨年度に引き続き「入学者選抜検証委員会」による事後検証を実施し、令和 4 年度入学者選抜に関する検証報告書を医学部ホームページにおいて公表しました。

継続的な入学者選抜の改善の取り組みを受けて、入試問題に関わる私立大学等経常費補助金の減額措置が解除されました。

さらに、大学の内部質保証が重視されている背景を受けて、これまで外部評価機関受審のタイミングで行っていた自己点検活動を、「医学部自己点検委員会」を中心に毎年度評価する仕組みへと変更し、自己点検業務を体系的に取り組む目的から、2023 年 4 月付で「自己点検評価室」を設置することを機関決定しました。

明治大学との共同研究会について、3 年ぶりに本学で開催し、研究発表により双方のニーズとシーズを共有することで大学間交流を深めることができました。

カリキュラムにおいては、医師国家試験対策として、新たにコース別特別講義を実施し、早期からの国試対策に取り組みました。また、臨床実習については、選択制実習の実施学年を第 6 学年次から第 5 学年次に変更し、コロナ禍に伴い長らく中止となっていた海外臨床実習を実施しました。

## 2) 大学院

国際交流の拡充に向け、海外より留学生（中国籍）1名が在籍しており、本年度修了いたしました。また、大学院学位記授与式では優秀論文者3名及び優秀指導者2名を表彰しました。

## 3) 看護専門学校

2022年度は、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部改正に従い、1年生は新カリキュラム単位2,985時間、2年生・3年生は旧カリキュラム100単位3,030時間で履修を進めました。授業時間に加え、入学式、継灯式、卒業式、創立者追悼ミサ、クリスマスの集い、防災訓練等の特別教育活動や学校祭を含む学生会行事・医療安全教育、国家試験対策等を実施し、3年間の総授業時間は3,600時間余りになります。

新型コロナウイルス感染症の流行が続いていますが、2022年度は感染予防対策を徹底し対面授業を基本とし、状況によりオンライン授業を併用し、すべての講義を滞りなく実施することができました。臨地実習においては感染状況により実習病棟の変更や実習内容の調整を行い、すべての履修を修了しています。コロナ禍での特別教育活動（行事）は、ほとんどが該当学生のみ参加でしたが、卒業式は4年ぶりに保証人列席の上、執り行うことができました。

国家試験については、合格率100%には届きませんでしたが、85名受験し84名合格（合格率98.8%）という結果を残すことができました。昨年度は1年生の退学者が多数いたことを受けて、学生一人一人に対して細やかな気配りができる体制を整えました。学生生活をサポートする担当の配置や電子媒体を使った目安箱の設置等を行い、1年生の退学者を出すことなく年度を終了することが出来ました。学校評価については、自己点検自己評価表を見直し、さらにこれまでの学校関係者評価会議でのご意見をもとに分析方法の再吟味を行いました。それを踏まえ、第5回学校関係者評価委員会を開催することができました。

次年度に向けては、入学志願者の増加と学力格差の是正、国家試験合格率100%を目指していきます。新校舎移転に関しては、最大の結果が残せるよう、また学生の学び舎として夢を描いてもらえるよう、創造力を発揮して着手したいと考えます。

## (3) 附属病院等の概況

### 1) 大学病院

新入院棟（955床）が2023年1月1日に開院しました。建物は、地上11階建ての免震構造となっており、1階には救命救急センター・夜間急患センター及び画像センター、2階には重症病床（ICU・HCU・CCU）・内視鏡センター、3階には手術室・血管撮影室（IVR）・輸血部、4階には供給部門・病理診断科、5階には総合周産期母子医療センター（MFICU・NICU・GCU・産科）、8階には脳卒中ケアユニット（SCU）を配置している他、5階以上に一般病棟を設置しています。また、新入院棟の屋上階にはヘリポートを設置し、災害拠点病院としての受入れや搬送拠点、臓器移植等への対応強化を図っています。

## 2) 東横病院

現在、「消化器病センター」「心臓病センター」「脳神経・脳卒中センター」「失神センター」「生活習慣病センター」「婦人科」「健康診断センター」を備えており、急性期医療から婦人科疾患、日常の健康管理、予防まで幅広いニーズに応え続ける病院となっております。

また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、下記項目の契約及び、指定医療機関となっております。

- ・新型コロナウイルス核酸検出の保険適用に伴う行政検査に係る事務委託契約
- ・神奈川モデル重点医療機関協力病院(3)
- ・発熱診療等医療機関指定
- ・新型コロナウイルスワクチン接種連携型接種施設 B

## 3) 西部病院

2022年4月より原口直樹新病院長のもと、新体制でのスタートとなりました。前年度に引き続き、行政からの要請に基づいて新型コロナウイルス感染症の病床確保フェーズに応じた病床確保と患者受入れに努めるとともに、帰国者・接触者外来、発熱外来の運用も継続しました。4月より横浜市難病患者一時入院支援事業の開始、6月より大腸・肛門疾患専門外来（大腸センター）を開設、8月よりめまい専門外来（めまいセンター）を開設しました。9月より一般診療高度治療室（G-HCU）を設置したことで、術後患者・救急患者など重症度の高い患者を救命救急センター医師と一般診療科医師による協力体制のもと、呼吸・循環管理及び疼痛管理を総合的・集中的に治療・看護を行うことで診療体制の強化を図りました。

また、12月には卒後臨床研修評価機構（JCEP）による審査を受け、基幹型臨床研修病院として研修内容の評価や初期臨床研修医の研修環境が整備されているかなど、書面審査とサーベイヤーによる訪問審査が行われ、4年間の更新認定を受けることができました。

2月から3月にかけて、救命救急センター外来の改修工事が行われ、診療ブースを増設したことにより、今後の救急患者応需の増加を見込んでおります。

引き続き横浜市西部地域の中核病院として、地域住民の皆様や医療機関から信頼され、安心・安全な医療を提供すべく努めてまいります。

## 4) 多摩病院

2022年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の対応を行い、これまでの専用病床に小児病床1床を加え、平常時34から35床、特別警戒時36床から37床へ増床しました。

また、聖マリアンナ医科大学の附属病院としての機能を有する当院は、教育、研修施設としての役割を果たすことを目的に、内科診療と救急診療の2つを柱とする総合診療専門医研修プログラムと内科専門医研修プログラムがあり、医科大学の教員としても活躍する経験豊富な指導医から、救急医療ならびに総合的な内科診療等を中心に、多岐にわたる疾患について十分な指導を提供しております。

さらに、両研修に加え臨床研究を経験し、総合診療領域での専門医と博士号取得を目指す意欲的な総合診療アカデミックコースも設定され、2019年度より本コースを開設し、これまでに5名が専門研修と並行して博士課程に在籍、2022年度には一期生が無事に専門医と博士号を取得しました。

これら、初期研修医および内科医、総合診療医を目指す後期研修医の教育を行なうに当たり、ホー

ホームページの研修医サイトをリニューアルし、初期研修医および内科医、総合診療医を希望される方へ研修内容等を発信しております。

ホームページサイトは、今年度に産婦人科サイトをリニューアルし、病院からのメッセージを患者さんや地域の医療機関へ発信しております。また、当院では、来年度に機能評価の受審を控えておりますが、院内サーベイヤーを配置するなど、PDCA サイクルを回し院内機能及び質の向上を目的に院内機能評価を行ない、本審査に向けて準備を進めております。

#### **5) プレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック**

2022年度は第1四半期にMRI機器更新のため、これに関わる患者受入れが出来なかったため(6月は0件)、患者数が減少しました。また2023年1月からは新医療情報(電子カルテ)システムが導入され、スタッフの新システムに対する習熟期間も加味し2週間ほど大幅な患者受入れ制限を行いました。年間で前年度比延患者数は1,147名減、収入は5,248万円減となりました。今後も業務改善を試み落ち込んだ患者数回復に取り組んでいきます。

## 2. 設置する学校・学部・学科

聖マリアンナ医科大学 医学部 医学科  
開学年月日 1971年4月1日  
所在地 川崎市宮前区菅生 2-16-1

聖マリアンナ医科大学 大学院 医学研究科  
開学年月日 1977年4月1日  
所在地 川崎市宮前区菅生 2-16-1

聖マリアンナ医科大学 看護専門学校 看護学科 医療専門課程  
開校年月日 1979年4月1日  
所在地 川崎市宮前区菅生 2-16-1

## 3. 収益事業（2013年3月29日付寄附行為変更認可によるもの）

川崎市立多摩病院の管理運営  
指定管理者指定日 2015年6月24日  
所在地 川崎市多摩区宿河原 1-30-37

## 4. 役員(理事・監事)および評議員関係

### (1) 役員(理事・監事)構成

理事・監事	氏名	任期
理事長	明石勝也	2020年4月1日～2023年3月31日
学長	北川博昭	2020年4月1日～2023年3月31日
常勤理事	三宅良彦	2020年4月1日～2023年3月31日
常勤理事	加藤智啓	2020年4月1日～2023年3月31日
常勤理事	大坪毅人	2020年4月1日～2023年3月31日
常勤理事	近藤浩志	2020年4月1日～2023年3月31日
常勤理事	鈴木宣男	2020年4月1日～2023年3月31日
常勤理事	小宮清	2020年4月1日～2023年3月31日
常勤理事	山本真士	2020年4月1日～2023年3月31日
非常勤理事	永田良一	2020年8月1日～2023年3月31日
非常勤理事	菊岡正和	2020年8月1日～2023年3月31日
監事	福島弘榮	2020年4月1日～2023年3月31日
監事	清水至	2020年4月1日～2023年3月31日

### (2) 常勤理事構成

理事長 明石勝也 他常勤理事8名（2023年3月31日現在）

### (3) 評議員構成

評議員 明石勝也 他評議員30名  
（25名：任期：2020年4月1日～2023年3月31日）  
（1名：任期：2021年4月1日～2023年3月31日）  
（4名：任期：2022年4月1日～2023年3月31日）

#### (4) 顧問

顧 問 5名 (4名、任期：2020年4月1日～2023年3月31日)  
(1名、任期：2021年4月1日～2023年3月31日)

#### (5) 理事会・評議員会・常任役員会の開催状況

##### 理事会開催日

2022年5月30日 2022年11月28日 2023年3月27日

##### 評議員会開催日

2022年5月30日 2022年11月28日 2023年3月27日

##### 常任役員会開催日

2022年4月25日	2022年5月30日	2022年6月2日
2022年6月27日	2022年7月25日	2022年9月26日
2022年10月31日	2022年11月28日	2022年12月26日
2023年1月30日	2023年2月8日	2023年2月27日
2023年3月16日	2023年3月27日	

### 5. 大学の主な役職者

役 職	氏 名	所 属
学 長	北 川 博 昭	
医 学 部 長	加 藤 智 啓	生化学主任教授
研 究 科 長	遊 道 和 雄	難治性疾患病態制御学 大学院教授
大 学 病 院 長	大 坪 毅 人	外科学（消化器・一般外科）主任教授
東 横 病 院 長	古 畑 智 久	外科学（消化器・一般外科）教授
西 部 病 院 長	原 口 直 樹	整形外科学 教授
多 摩 病 院 長	長 島 悟 郎	脳神経外科学 教授
ブレスト&イメージング 先端医療センター 附属クリニック院長	福 田 護	外科学（乳腺・内分泌外科）特任教授

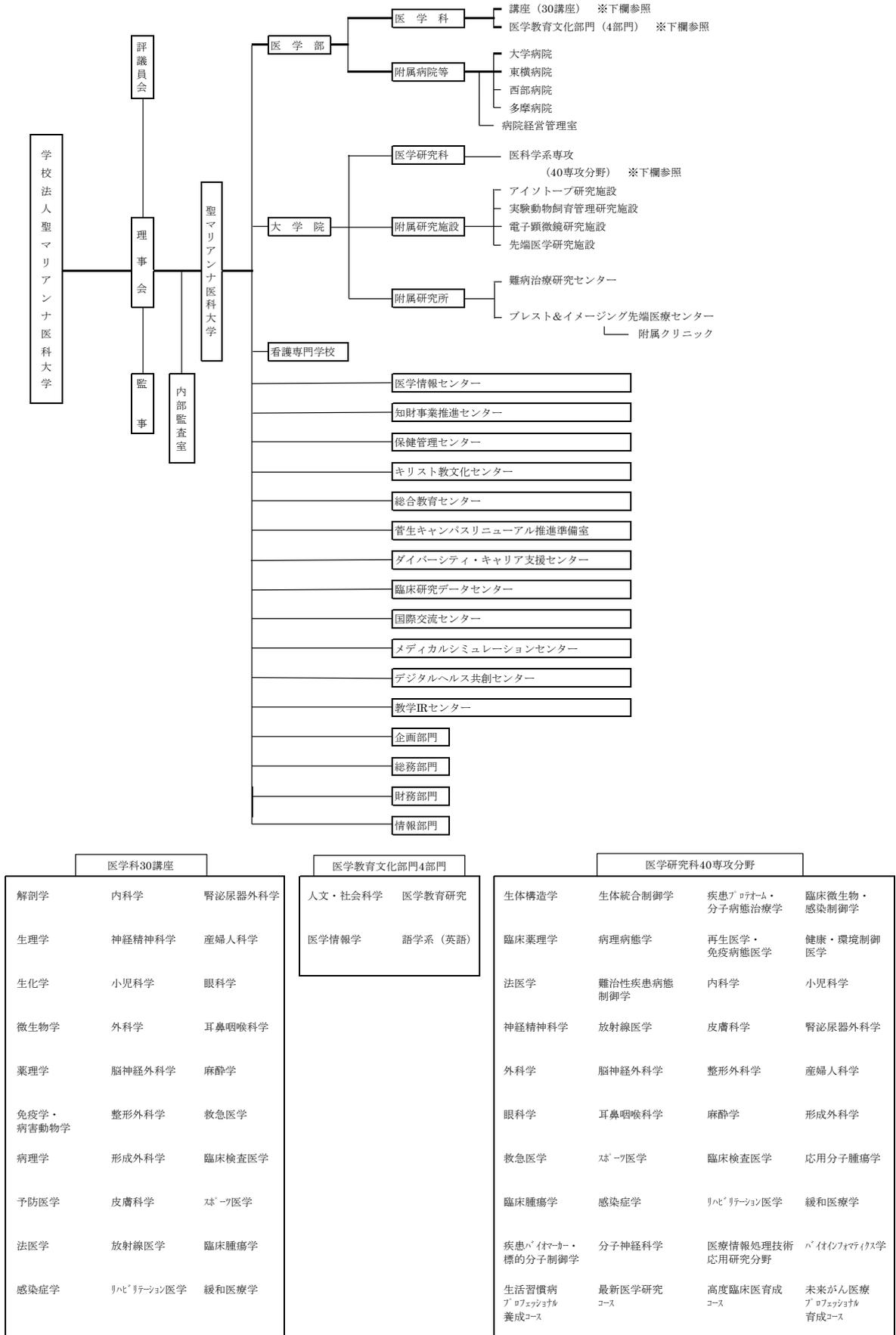
## 6. 教職員数 (2023年3月1日現在)

区 分		医学部	大学病院	東横病院	西部病院	多摩病院	ブレスト& イメージング センター附属 クリニック	看護専門 学校	大学院	大学院 附属研究 施設・附 属研究所	合 計
教員	学長	1									1
	教授※1	129	(84)	(8)	(18)	(6)			5		134
	准教授	81	(44)	(3)	(9)	(11)	(1)		2	5	88
	講師	133	(75)	(5)	(16)	(11)	(1)		1	5	139
	助教	668	(340)	(22)	(85)	(78)	(1)		1	3	672
	小計 ( 1 )	1,012	(543)	(38)	(128)	(106)	(3)		9	13	1,034
職員	その他医師		61		7	9	1				78
	看護師	11	1,208	137	478	400	9				2,243
	薬剤師		81	6	32	24	2				145
	臨床検査技師		110	19	33	23	5				190
	放射線技師		78	11	28	22	5				144
	OT・PT・ST		40	9	20	17					86
	医・診療技術員		79	5	27	26					137
	栄養士等		25	1	9	5					40
	事務員	209	160	29	77	66	7	4		1	553
	研究技術員	37								11	48
	教員							21			21
	その他	11	64	1	10	11					97
	小計 ( 2 )	268	1,906	218	721	603	29	25		12	3,781
合計 ( 1 ) + ( 2 )		1,280	1,906	218	721	603	29	25	9	25	4,815
その他 (研修医)			81		11	22					114
総 計		1,280	1,987	213	732	625	29	25	9	25	4,929

看 護 師	看護師、保健師、助産師、准看護師、診療看護師
O T ・ P T ・ S T	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士
医 ・ 診 療 技 術 員	臨床工学技士、視能訓練士、ソーシャルワーカー、臨床心理士、救急救命士、歯科衛生士
栄 養 士 等	管理栄養士、栄養士
事 務 員	事務、クラーク、秘書、司書、メディカルコーディネーター
そ の 他	看護助手、保育士、調理員、電話交換手、運転手、工務技術員、技能員、技術員

※1 教授＝特任教授を含む

# 7. 学校法人聖マリアンナ医科大学組織図



## II. 事業の概要

### 1. 法人本部・教育・研究・診療活動

2022年度の法人本部・教育・研究・診療活動における主な改革・施策の状況は、次のとおりです。

#### 法人本部

- ・ 菅生キャンパスリニューアル計画のステップ2完了
- ・ 新入院棟竣工祝賀式挙行
- ・ 新入院棟オープン
- ・ ガバナンス・コード制定

#### 医学部

- ・ 医学教育分野別評価に認定
- ・ 医療倫理分野・行動科学分野の設置
- ・ オープンキャンパスの開催
- ・ 令和4年度入学者選抜に関する検証報告書作成
- ・ 自己点検評価室の設置
- ・ 明治大学との共同研究会開催
- ・ コース別特別講義の導入

#### 大学院

- ・ COVID-19対策としてオンデマンド講義（WEBCLASS）を実施
- ・ 「がんプロフェッショナル養成プラン」における連携校との症例報告会 3部会で各部会年1-3回

#### 大学病院

- ・ 救命救急センターには、CT室と連結した透視装置を有する外来初療手術室(MODIFIED HYBRID EMERGENCY ROOM)を設置
- ・ COVID-19を始めとするウイルス感染症に対応するために、救急外来と救命病棟では感染者数の変動に合わせたゾーニングが可能な設計
- ・ 手術室は14室から20室に拡張し、年間1万件以上の手術が実施できるよう拡充
- ・ 救命救急センター充実段階評価で最高のS評価を獲得

#### 東横病院

- ・ 脳血管内治療科 開設
- ・ 脳血管内治療センター 廃止
- ・ ヘルニア外来設置
- ・ メンズヘルスドック開始
- ・ HPVワクチン定期接種開始

#### 西部病院

- ・ 原口直樹病院長就任(第9代目)
- ・ 横浜市難病患者一時入院支援事業(レスパイト)開始
- ・ 大腸肛門疾患専門外来(大腸センター)開設
- ・ めまい専門外来(めまいセンター)開設
- ・ 一般診療高度治療室(G-HCU)設置
- ・ 新型コロナウイルス感染症に対応する「帰国者・接触者外来」「発熱外来」の継続
- ・ 新型コロナウイルス感染症病床確保フェーズに応じたコロナ病床の確保
- ・ 卒後臨床研修評価機構(JCEP)受審・更新認定
- ・ 救命救急センター外来改修

## 1. 法人本部・教育・研究・診療活動（2）

### 多摩病院

- ・ 病院ホームページリニューアル(産婦人科・研修医サイト)
- ・ IVR-CT 撮影装置の更新
- ・ 川崎 FM に定期的に出演

### プレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

- ・ MRI 機器更新
- ・ 新医療情報システムを導入

### 看護専門学校

- ・ COVID-19 対策として対面授業・オンライン授業併用
- ・ COVID-19 対策として病院実習・学内実習併用に臨地実習実施
- ・ コロナ以降初めての学校祭、4年ぶりの保証人参列の中の卒業式の開催
- ・ 1年生新カリキュラムスタート
- ・ 第5回関係者評価実施

## 1-1 大学病院

開 院 年 月 日	1974年2月12日
許 可 病 床 数	1,175床 (稼動病床数 1,012床) [一般病棟 1,123床、精神病棟 52床]  (2023年1月1日 新入院棟オープン) 955床 [一般病棟 924床、精神病棟 31床]
患 者 数	入院延人数 276,215人 1日入院平均 757人 外来延人数 599,455人 1日外来平均 2,053人
診 療 科 等	総合診療内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓・高血圧内科、代謝・内分泌内科、脳神経内科、血液内科、リウマチ・膠原病・アレルギー内科、腫瘍内科、神経精神科、小児科、新生児科、消化器・一般外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺・内分泌外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、腎泌尿器外科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、放射線診断・IVR科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、救急科、リハビリテーション科、緩和ケア科 (34診療科) 内科総合診療部、呼吸器病センター、ハートセンター、心不全センター、ハイブリッド心臓大動脈治療センター、脳卒中センター、パーキンソン病治療センター、腎臓病センター、糖尿病センター、内分泌疾患センター、胆道・膵臓病センター、リウマチ・膠原病生涯治療センター、肝疾患医療センター、脊椎センター、人工関節センター、総合周産期母子医療センター、こどもセンター、精神療法・ストレスケアセンター、認知症(老年精神疾患)治療研究センター、統合失調症治療センター、リハビリテーションセンター、腫瘍センター、緩和ケアセンター、生殖医療センター、感染症センター、てんかんセンター、救命救急センター、夜間急患センター、健康診断センター、ゲノム医療推進センター (30診療施設)

## 1-2 東横病院

開 設 年 月 日	1971年4月1日 (2008年6月16日リニューアルオープン)
許 可 病 床 数	138床 (稼動病床数 131床)
患 者 数	入院延人数 34,244人 1日入院平均 94人 外来延人数 83,951人 1日外来平均 313人
診 療 科 等	循環器内科、消化器内科、脳神経内科、代謝・内分泌内科、リウマチ内科・膠原病・アレルギー内科、腫瘍内科、消化器外科、心臓血管外科、脳神経外科、脳血管内治療科、婦人科、放射線科、麻酔科、病理診断科 (14診療科) 消化器病センター、心臓病センター、脳神経・脳卒中センター、失神センター、生活習慣病センター、救急集中治療部、健康診断センター(女性検診センターを含む) (7診療施設)

### 1-3 西部病院

開設年月日	1987年5月25日
許可病床数	518床（稼動病床数 420床）
患者数	入院延人数 114,226人 1日入院平均 313人 外来延人数 229,983人 1日外来平均 858人
診療科等	総合診療内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科、腎臓・高血圧内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、代謝・内分泌内科、脳神経内科、神経精神科、小児科、消化器・一般外科（消化器外科、乳腺・内分泌外科）、心臓血管外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科 （25診療科） 心臓血管センター、脳神経センター、救命救急センター（脳卒中センター）、周産期センター、足の外科センター、大腸センター、めまいセンター （7診療施設。ただし、脳神経センターは休止中）

### 1-4 多摩病院

開院年月日	2006年2月1日
許可病床数	376床（稼働病床数 341床）
患者数	入院延人数 85,225人 1日入院平均 233人 外来延人数 197,226人 1日外来平均 736人
診療科等	総合診療内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓・高血圧内科、代謝・内分泌内科、脳神経内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、アレルギー科、神経精神科、小児科、消化器・一般外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺・内分泌外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、病理診断科 （32診療科） 救急災害医療センター、腎センター、内視鏡センター、健康診断部 （4診療施設）

### 1-5 プレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

開院年月日	2009年3月2日
許可病床数	無床
外来患者数	外来延人数 36,512人 1日外来平均 136人
診療科等	乳腺外科、放射線科、腫瘍内科（乳腺疾患に特化した診療施設）

## 2. 学生在籍者数（2022年4月1日時点）

### (1) 医学部

学 年	定 員	学生数
1 学 年	115名	119（75）名
2 学 年	115名	121（74）名
3 学 年	115名	115（64）名
4 学 年	115名	119（53）名
5 学 年	115名	108（44）名
6 学 年	115名	122（43）名
合 計	690名	704（353）名

（括弧内数字は女子学生数）

### (2) 大学院

学 年	定 員	合 計
1 学 年	60名	20（7）名
2 学 年	60名	30（9）名
3 学 年	60名	23（10）名
4 学 年	60名	33（12）名
合 計	240名	106（38）名

（括弧内数字は女子学生数）

### (3) 看護専門学校

学 年	定 員	学生数
1 学 年	80名	74（5）名
2 学 年	80名	76（7）名
3 学 年	80名	92（3）名
合 計	240名	242（15）名

（括弧内数字は男子学生数）

### 3. 入学試験状況

#### (1) 医学部

学校推薦型入学試験（地域枠含む）

第1次試験 2022年 11月 12日（土）

同合格発表 2022年 12月 1日（木）

一般入学試験（前期）

第1次試験 2023年 1月 24日（火）

同合格発表 2023年 1月 31日（火）

第2次試験 2023年 2月 4日（土）・5日（日）

同合格発表 2023年 2月 10日（金）

一般入学試験（後期）

第1次試験 2023年 3月 2日（木）

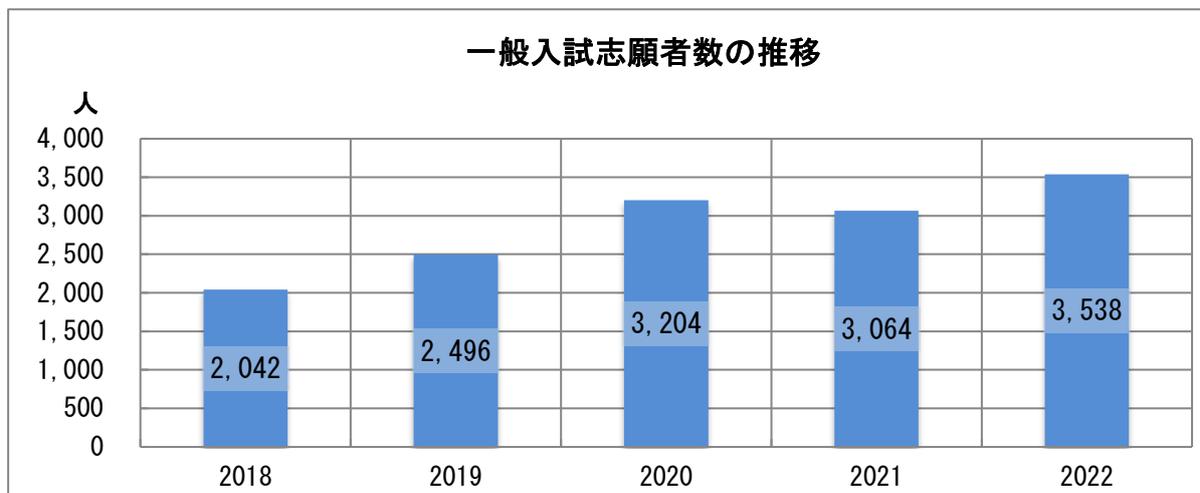
同合格発表 2023年 3月 8日（水）

第2次試験 2023年 3月 10日（金）

同合格発表 2023年 3月 17日（金）

区分	募集人員	志願者数	入学者数(2023年度)
推薦（地域枠含む）	約30名	30（19）名	16（9）名
一般（前期）	約75名	2,354（1,053）名	87（48）名
一般（後期）	約10名	1,184（552）名	12（7）名
合計	115名	3,568（1,624）名	115（64）名

（括弧内数字は女子学生数）

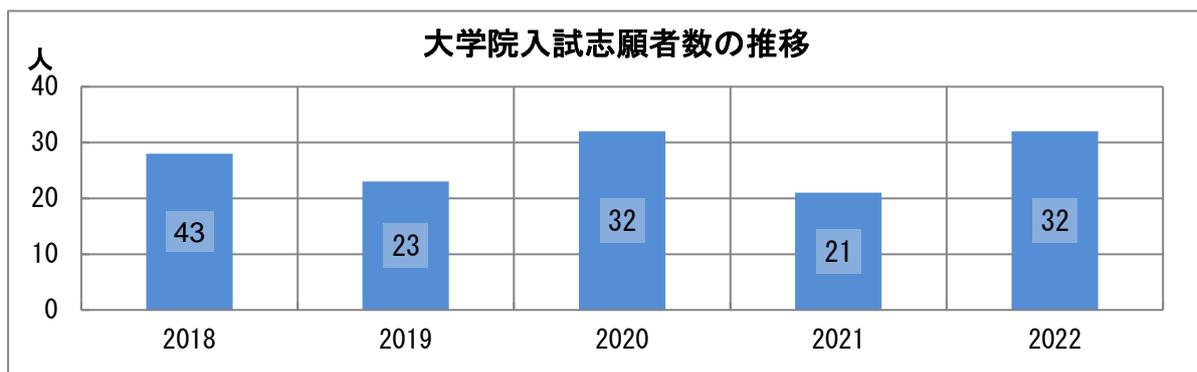


## (2) 大学院

第1次入学試験	2022年 11月 4日 (金)
同合格発表	2022年 12月 8日 (木)
第2次入学試験	2023年 1月 6日 (金)
同合格発表	2023年 2月 2日 (木)

専攻	募集人員	志願者数	入学者数(2023年度)
医科学系	60名	32 (16)名	31 (16)名

(括弧内数字は女子学生数)

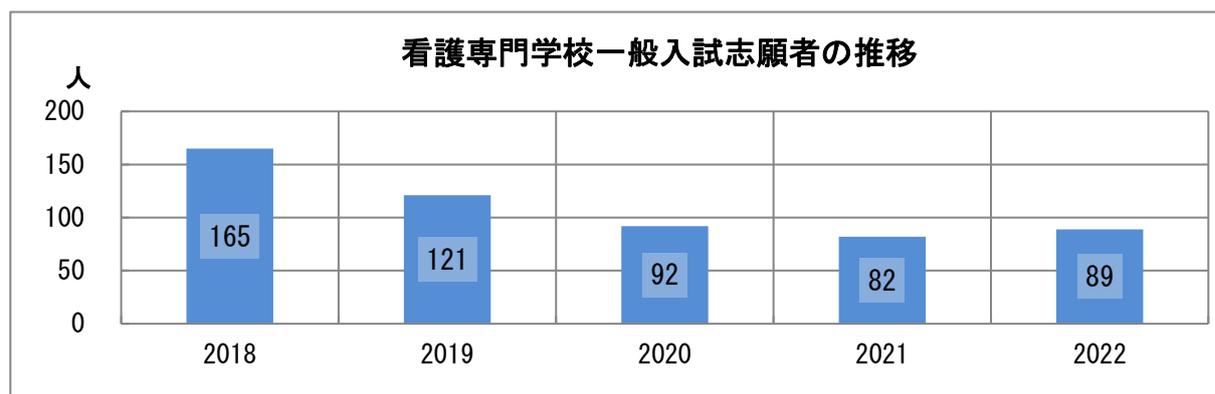


## (3) 看護専門学校

特別選抜試験	2022年 9月 17日 (土)
同合格発表	2022年 9月 22日 (木)
推薦入学試験	2022年 10月 29日 (土)
同合格発表	2022年 11月 2日 (水)
一般入学試験 (I期)	2023年 1月 7日 (土)
同合格発表	2023年 1月 12日 (木)
一般入学試験 (II期)	2023年 3月 18日 (土)
同合格発表	2023年 3月 20日 (月)

区分	募集人員	志願者数	入学者数(2023年度)
推薦		48名	47名
特別選抜		12名	7名
一般 (I期)		78名	31名
一般 (II期)		11名	3名
合計	全体で 80名	149名	88 (12)名

(括弧内数字は男子学生数)

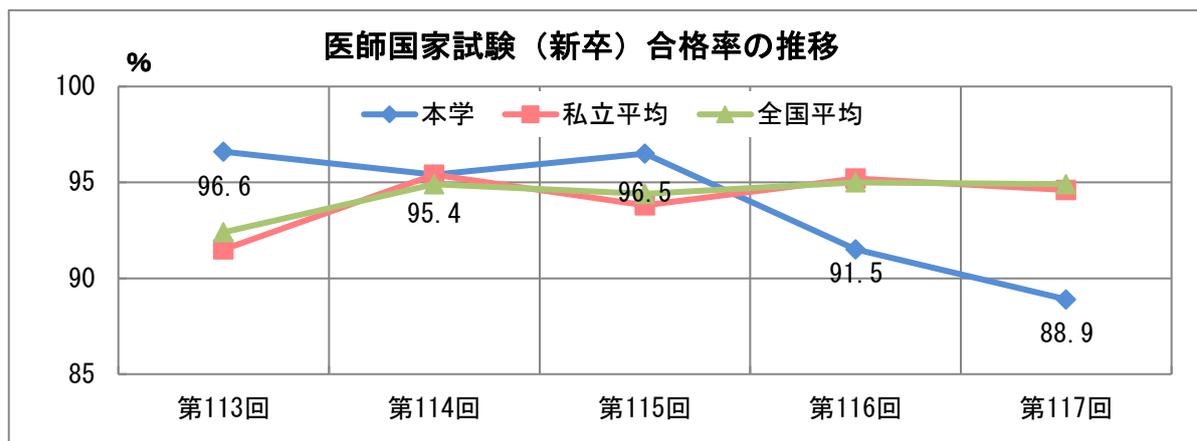


#### 4. 国家試験合格状況

##### (1) 第117回医師国家試験合格状況

第117回医師国家試験は、本学の合格者数は114名、合格率89.1%となりました。

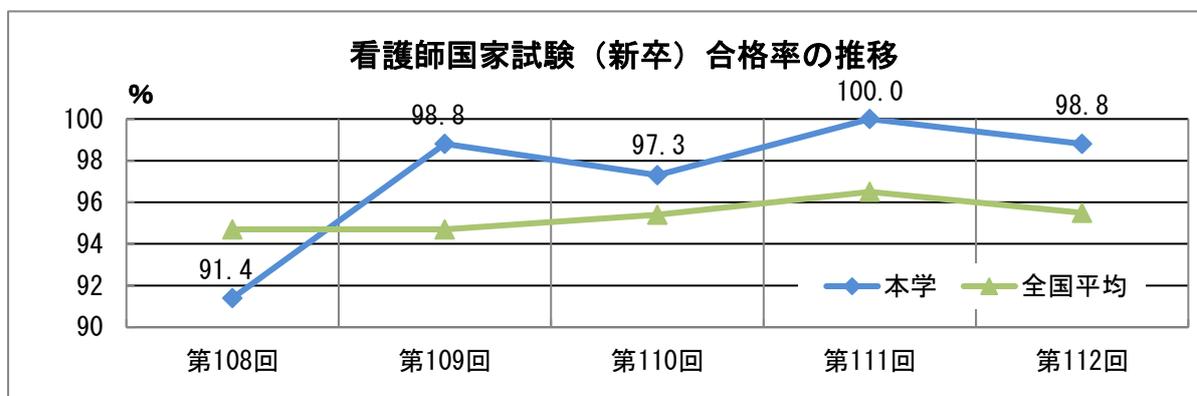
	新卒	既卒	全体
受験者数	117名	11名	128名
合格者数	104名	10名	114名
本学合格率	88.9%	90.9%	89.1%
私立医科大学平均合格率	94.6%	62.7%	92.3%
全国平均合格率	94.9%	55.2%	91.6%



##### (2) 第112回看護師国家試験合格状況

第112回看護師国家試験の合格率は98.8%で、全国平均の合格率を上回る結果となりました。  
なお、合格者84名のうち78名が本学附属病院等に入職しました。

	新卒
受験者数	85名
合格者数	84名
本学合格率	98.8%
全国平均合格率	95.5%



#### 5. 博士(医学)の学位授与状況

課程修了によるもの	26件
論文提出によるもの	9件

## 6. 補助金交付状況

### (1) 国庫補助金・地方公共団体補助金等交付状況

2022年度の国庫補助金・地方公共団体補助金等の交付状況は、次のとおりです。

部門	補助者	件数	交付金額
医学部	国庫補助金	2件	1,937,489千円
	神奈川県	0件	
	川崎市	1件	
	私学事業団	1件	
大学病院	国庫補助金	5件	2,641,451千円
	神奈川県	12件	
	川崎市	13件	
	その他	0件	
東横病院	国庫補助金	0件	136,904千円
	神奈川県	6件	
	川崎市	6件	
西部病院	国庫補助金	1件	617,745千円
	神奈川県	11件	
	横浜市	7件	
	その他	0件	
多摩病院	国庫補助金	3件	3,323,031千円
	神奈川県	10件	
	川崎市	7件	
	その他	0件	
看護専門学校	神奈川県	4件	44,724千円
	川崎市	2件	
プレスト&イメージングセンター	神奈川県	1件	100千円
法人合計			<b>8,701,444千円</b>
内訳	国庫補助金(私学事業団含)		2,030,252千円
	地方公共団体補助金		6,671,192千円
	その他補助金		0千円

### (2) 文部科学省科学研究費補助金申請・交付状況

2022年度科学研究費補助金は、次のとおり申請261件に対し新規採択が40件、継続採択が78件の合計118件に対し206,000千円が交付されました。なお申請件数に対する採択率は15.33%です。

研究種目	新規			継続	
	申請件数	採択件数	金額	採択件数	金額
新学術領域研究	1件	1件	2,200千円	0件	0千円
基盤研究(S)	0件	0件	0千円	0件	0千円
基盤研究(A)	1件	0件	0千円	0件	0千円
基盤研究(B)(一般)	5件	3件	14,800千円	4件	14,200千円
基盤研究(C)	176件	24件	68,500千円	51件	42,700千円
挑戦的研究(開拓)	0件	0件	0千円	0件	0千円
挑戦的研究(萌芽)	12件	1件	4,800千円	0件	0千円
若手研究	52件	8件	24,700千円	21件	16,000千円
研究活動スタート支援	12件	2件	4,000千円	1件	1,200千円
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A))	1件	1件	11,900千円	0件	0千円
学術変革領域研究(B)	1件	0件	0千円	0件	0千円
特別研究員奨励費	0件	0件	0千円	1件	1,000千円
合計	<b>261件</b>	<b>40件</b>	<b>130,900千円</b>	<b>78件</b>	<b>75,100千円</b>

## 7. 主な施設・設備の更新等

2022年度における主な施設・設備の更新等は、次のとおりです。

### ◆ 大学・大学院

施設関係	菅生キャンパス近隣土地・建物（長沢サテライトキャンパス）取得
設備関係	超音波検査用トレーニングシミュレータ取得
	遠隔講義受発信設備一式取得
	教育棟 I Cカードリーダー・電気錠制御ユニット更新

### ◆ 大学病院

施設関係	新入院棟建設工事
設備関係	医療情報システム BESTCare2.0J 取得
	医用画像管理システム(PACS/RIS 等)更新
	リニアック更新

### ◆ 東横病院

設備関係	デジタル X 線透視撮影システム取得
	遺伝子解析装置取得

### ◆ 西部病院

施設関係	救命外来改修工事
	エレベーター設備更新工事
設備関係	1688 AIM 4K カメラシステム取得
	臨床用ポリグラフ取得

### ◆ 多摩病院

設備関係	シラス HD-OCT 取得
	血液成分分析装置取得

### ◆ プレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

設備関係	画像保管装置 Raideye Core 更新
	医療情報システム BESTCare 2.0J 用 PC 及び IT 周辺機器一式更新

### ◆ 看護専門学校

設備関係	妊婦腹部触診シミュレータ取得
------	----------------

### Ⅲ. 財務の概要

#### 1. 財務の概況

2022年度は、前年度と同じように新型コロナウイルス感染症の感染拡大と収束を繰り返す状況が続きました。

しかしながら、ワクチン接種者数・接種率の上昇、治療薬の承認や治療方法に関する知見の獲得、変異株の性質変化などに伴い、感染拡大よりも社会・経済活動の停滞による損失に社会や政治の関心は移っており、コロナ禍以前の日常を取り戻そうとする動きが活発になってきました。

一方で、ロシアによるウクライナ侵攻は、エネルギー価格をはじめとする諸物価の押し上げなど社会・経済活動を停滞させる新たな要因となっています。

そうした状況において、附属病院等では患者数はコロナ禍前の水準にはいまだ戻らず、新型コロナ関連公的支援金の要件厳格化による交付減額や過誤交付分の返還、後述の大型の施設設備投資とあいまって、経営状況は極めて厳しいものとなっています。

2023年1月1日、菅生キャンパスリニューアル計画の中核をなす大学病院の新入院棟が開棟し、同時に、日本初導入となる新医療情報(電子カルテ)システム BESTCare2.0J の稼働が始まりました。移転や移行に伴う大小の混乱が続き、外部環境の変化も含めて厳しい船出となりましたが、それらを乗り越え、教職員が一丸となって次世代の病院を作り出していく必要があります。

法人全体の基本金組入前収支差額は▲3,987百万円と、補正予算▲4,789百万円よりも医療収入の増加等で改善したものの、これと減価償却額等を合計した留保利益は▲618百万円と開学から初めてのマイナスとなりました。

菅生キャンパスリニューアル計画は外来棟の改修やエントランス棟の建設など今後も続いていきます。また、2022年度に取得した長沢サテライトキャンパスの建物を、老朽化が進む看護学校の代替施設として改修する計画にも着手しました。借入金の返済も見据え、経営状況を改善する施策を着実にうちつつ、大学と病院に寄せられた大きな期待と信用に応える取組みを継続していきます。

## 2. 学校法人会計

### (1) 資金収支計算書の概要

資金収支計算書は、当該年度内の教育研究診療活動で発生した全ての資金の動きを収入・支出の両面から表した計算書です。法人の諸活動に伴い、どれだけのお金が、どこから入ってきてどこへ出て行ったのか、その結果、どれだけのお金が残ったかを明らかにするものです。

(収入の部)			(単位 百万円)		
勘定科目	2022年度決算①	2022年度補正②	2021年度決算①	増減(①-②)	増減(①-③)
学生生徒等納付金収入	4,252	4,251	4,311	1	△ 59
寄付金収入	408	404	399	4	9
補助金収入	5,378	5,357	8,833	21	△ 3,455
医療収入	60,701	59,182	60,423	1,519	278
その他の収入	22,498	18,810	24,152	3,688	△ 1,654
資金収入調整勘定	△ 12,973	△ 12,364	△ 14,546	△ 609	1,573
<b>当年度収入合計(A)</b>	<b>80,264</b>	<b>75,640</b>	<b>83,572</b>	<b>4,624</b>	<b>△ 3,308</b>
借入金等収入(1)	29,000	29,400	8,300	△ 400	20,700
前年度繰越支払資金	9,368	9,368	10,759	0	△ 1,391
<b>収入の部合計</b>	<b>118,632</b>	<b>114,408</b>	<b>102,631</b>	<b>4,224</b>	<b>16,001</b>
(支出の部)					
勘定科目	2022年度決算①	2022年度補正②	2021年度決算①	増減(①-②)	増減(①-③)
人件費支出	31,656	31,458	30,761	198	895
教育研究経費支出	3,151	3,151	2,641	0	510
医療経費支出	35,855	34,952	32,884	903	2,971
管理経費支出	2,612	2,585	1,852	27	760
施設・設備関係支出	22,833	23,025	10,963	△ 192	11,870
借入金等利息支出	98	99	75	△ 1	23
その他の支出	16,228	12,733	22,842	3,495	△ 6,614
資金支出調整勘定	△ 21,976	△ 18,379	△ 11,861	△ 3,597	△ 10,115
<b>当年度支出合計(B)</b>	<b>90,457</b>	<b>89,624</b>	<b>90,157</b>	<b>833</b>	<b>300</b>
借入金等返済支出(2)	10,285	10,285	3,106	0	7,179
次年度繰越支払資金	17,890	14,499	9,368	3,391	8,522
<b>支出の部合計</b>	<b>118,632</b>	<b>114,408</b>	<b>102,631</b>	<b>4,224</b>	<b>16,001</b>
<b>当年度資金差額(A)-(B)</b>	<b>△ 10,193</b>	<b>△ 13,984</b>	<b>△ 6,585</b>	<b>3,791</b>	<b>△ 3,608</b>
借入金差額(1)-(2)	18,715	19,115	5,194	△ 400	13,521

(2) 活動区分資金収支計算書の概要

活動区分資金収支計算書は、企業会計のキャッシュフロー計算書に相当するもので、当該年度の法人の活動を①教育研究診療活動、②施設整備等の活動、③財務活動・収益事業活動等に区分し、活動ごとの資金の動きを収入・支出の両面から表した計算書です。法人の諸活動に伴い、どれだけのお金が、どこから入ってきてどこへ出て行ったのか、その結果、どれだけのお金が残ったのかを明らかにするものです。

単位(百万円)

●教育活動による資金収支		2022決算 ①	2022補正 ②	2021決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収入	学納金収入	4,252	4,251	4,311	1	▲59
	寄付金収入	232	184	265	48	▲33
	経常費等補助金収入	5,219	5,253	7,957	▲34	▲2,738
	医療収入	60,701	59,182	60,423	1,519	278
	その他の収入	2,483	2,267	2,391	216	92
収入合計(A)		72,887	71,137	75,347	1,750	▲2,460
支出	人件費支出	31,656	31,458	30,761	198	895
	教育研究経費支出	3,151	3,151	2,641	0	510
	医療経費支出	35,855	34,952	32,884	903	2,971
	管理経費支出	2,604	2,578	1,852	26	752
支出合計(B)		73,266	72,139	68,138	1,127	5,128
調整勘定等(C)		3,004	1,598	150	1,406	2,854
資金差額(D=A-B+C)		2,625	596	7,359	2,029	▲4,734

2022年度、教育活動(研究・診療含む)資金収支は前期期末未収入金収入の増加、期末未払金の減少により資金差額は**2,625百万円(D)**となりました。

機器備品の調達等、資本的支出を含む**施設整備等活動の資金差額は▲14,037百万円(H)**で、新型コロナウイルス関連支援金やそれを原資とする特定資産繰入れの減少、大学病院新入院棟竣工・稼働や電子カルテ更新等施設・設備関係支出増加によるものです。教育と施設整備を合わせた資金差額は**▲11,412百万円(D+H)**です。

借入・貸付とその返済、利息や収益事業からの繰入を含む**財務活動等の資金差額19,934百万円(N)**(D+H)を合算した資金差額は、前年度から**8,522百万円(Q)**増加し、次年度へは**17,890百万円(P)の支払資金**を繰越すこととなります。(尚、この次年度繰越支払資金は、1か月分の運転資金にあたる年度末4号基本金5,614百万円を上回っています。)

●施設整備等活動による資金収支

収入	寄付金・補助金収入	335	324	1,010	11	▲675
	その他の収入	448	1	2,251	447	▲1,803
	収入合計(E)	783	325	3,261	458	▲2,478
支出	施設・設備関係支出	22,833	23,025	10,963	▲192	11,870
	その他の支出	445	0	8,000	445	▲7,555
	支出合計(F)	23,278	23,025	18,963	253	4,315
調整勘定等(G)		8,458	6,905	▲1,366	1,553	9,824
資金差額(H=E-F+G)		▲14,037	▲15,795	▲17,068	1,758	3,031
資金差額小計(D+H)		▲11,412	▲15,199	▲9,709	3,787	▲1,703

●その他の活動による資金収支 ※財務活動、収益事業活動等

収入	借入金等収入(I)	29,000	29,400	8,300	▲400	20,700
	収益事業収入	0	143	2,537	▲143	▲2,537
	その他の収入	5,185	2,016	3,673	3,169	1,512
	収入合計(J)	34,185	31,559	14,510	2,626	19,675
支出	借入金等返済支出(K)	10,285	10,285	3,106	0	7,179
	借入金等利息支出	98	99	75	▲1	23
	その他の支出	3,868	814	3,011	3,054	857
	支出合計(L)	14,251	11,198	6,192	3,053	8,059
調整勘定等(M)		0	▲31	0	31	0
資金差額(N=J-L+M)		19,934	20,330	8,318	▲396	11,616

借入金等収入(I)29,000百万円はリニューアル事業計画に係るもので、うち10,000百万円は銀行団からのバックアップ融資として、私学事業団から同額の借入実行に伴い期中に返済しています。

収益事業会計として区分経理している多摩病院の当期純利益は**▲228百万円**とマイナスになったため、学校会計への繰入れはありません。

前年度繰越支払資金(O)		9,368	9,368	10,759	0	▲1,391
次年度繰越支払資金(P)		17,890	14,499	9,368	3,391	8,522
支払資金増減(Q=D+H+N=P-O)		8,522	5,131	▲1,391	3,391	9,913
内訳	借入金差額(R=I-K)	18,715	19,115	5,194	▲400	13,521
	当年度資金差額(S=Q-R)	▲10,193	▲13,984	▲6,585	3,791	▲3,608

借入金差額(借入収入-返済支出)18,715百万円(R)を除いた当年度の資金差額は**▲10,193百万円(S)**となります。

(3) 事業活動収支計算書の概要

事業活動収支計算書は、企業会計の損益計算書に相当するもので、当該年度の事業活動における収入と支出の内容および、その均衡状態を明らかにするものです。法人の事業活動を經常的な活動(①教育研究診療活動、②財務活動、収益事業活動)と③臨時的な活動に区分し、それぞれの収支を把握します。

「基本金組入前当年度収支差額」は、当該年度の短期的な収支バランス(いわゆる、黒字なのか、赤字なのか)を示しています。また、当該年度の基本金増減を加味した「翌年度繰越収支差額」は、長期的視点による収支バランスで、将来にわたり永続的な事業活動を維持するためには、収支均衡状態に近づくことが理想とされます。

単位(百万円)

●經常収支 (教育活動収支)		2022決算 ①	2022補正 ②	2021決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収入	学納金	4,252	4,251	4,311	1	▲ 59
	寄付金	234	184	268	50	▲ 34
	經常費等補助金	5,219	5,253	7,957	▲ 34	▲ 2,738
	医療収入	60,701	59,182	60,423	1,519	278
	その他の収入	2,483	2,268	2,391	215	92
	収入合計(A)	72,889	71,138	75,350	1,751	▲ 2,461
支出	人件費	31,881	31,868	30,978	13	903
	教育研究経費	3,553	3,554	3,122	▲ 1	431
	医療経費	38,787	37,659	35,122	1,128	3,665
	管理経費	2,676	2,650	1,943	26	733
	その他の支出	8	40	17	▲ 32	▲ 9
	(減価償却額)	(3,051)	(3,004)	(2,629)	47	422
支出合計(B)	76,905	75,771	71,182	1,134	5,723	
収支差額(C=A-B)	▲ 4,016	▲ 4,633	4,168	617	▲ 8,184	

学校法人の本業である教育活動(研究・診療含む)の収入は、經常費等補助金や医療収入が増加した一方、コロナ関連支援金(補助金)の減少により前年比減の72,889百万円(A)となりました。

支出では、人件費のほか新入院棟竣工・稼働に伴う什器、委託費、高額医薬品を含む材料費増、光熱水費高騰などで経費が増加しました。

教育活動収支差額は、前年比▲8,184百万円の▲4,016百万円(C)となりました。

●經常収支(教育活動外収支) ※財務活動収支、収益事業活動収支

収入	受取利息・配当金他	26	26	24	0	2
	収益事業収入	0	143	2,537	▲ 143	▲ 2,537
収入合計(D)	26	169	2,561	▲ 143	▲ 2,535	
支出	借入金等利息	98	99	75	▲ 1	23
	その他の支出	0	0	0	0	0
支出合計(E)	98	99	75	▲ 1	23	
収支差額(F=D-E)	▲ 72	70	2,486	▲ 142	▲ 2,558	
經常収支差額(G=C+F)	▲ 4,088	▲ 4,563	6,654	475	▲ 10,742	

また、財務活動による収入26百万円(D)は収益事業繰入れのあった前年度に比べ大幅に減少したのに対し、借入金等利息98百万円(E)を支出したため、教育活動外収支差額は▲72百万円(F)、教育活動収支差額と合わせた經常収支差額は▲4,088百万円(G)となりました。

●特別収支 ※臨時的な活動収支

収入	資産売却差額	1	0	1	1	0
	寄付金・補助金収入	372	345	1,037	27	▲ 665
	その他の収入	16	32	0	▲ 16	16
収入合計(H)	389	377	1,038	12	▲ 649	
支出	資産処分差額	53	596	9	▲ 543	44
	その他の支出	7	7	0	0	7
支出合計(I)	60	603	9	▲ 543	51	
特別収支差額(J=H-I)	329	▲ 226	1,029	555	▲ 700	

新型コロナ関連支援金(施設設備補助金)や、50周年記念事業募金、教育研究用機器備品等の資産処分差額などを合わせた臨時的な活動による特別収支差額は329百万円(J)となりました。

基本金組入前当年度収支差額(K=G+J-Q-R)	▲ 3,759	▲ 4,789	7,683	1,030	▲ 11,442
基本金組入額(L)	▲ 4,027	▲ 4,843	▲ 2,701	816	▲ 1,326
当年度収支差額(M=K+L)	▲ 7,786	▲ 9,632	4,982	1,846	▲ 12,768
前年度繰越収支差額(N)	▲ 50,386	▲ 50,386	▲ 55,368	0	4,982
基本金取崩額(O)	123	142	0	▲ 19	123
翌年度繰越収支差額(P=M+N+O)	▲ 58,049	▲ 59,877	▲ 50,386	1,828	▲ 7,663

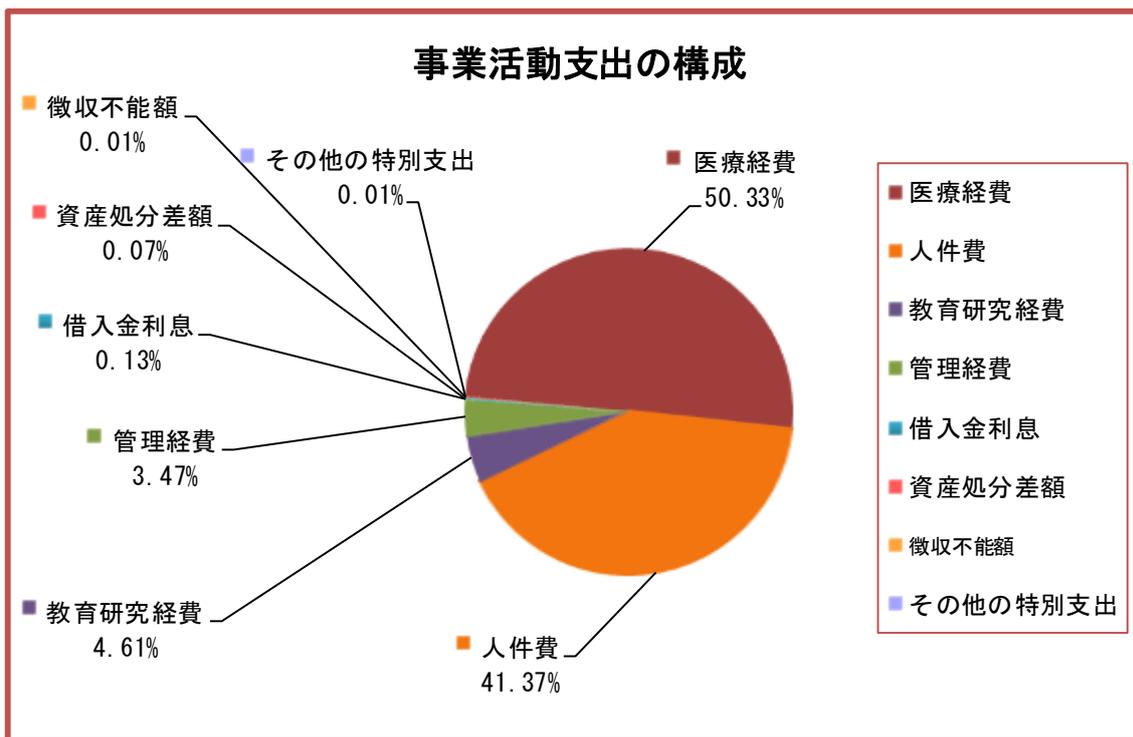
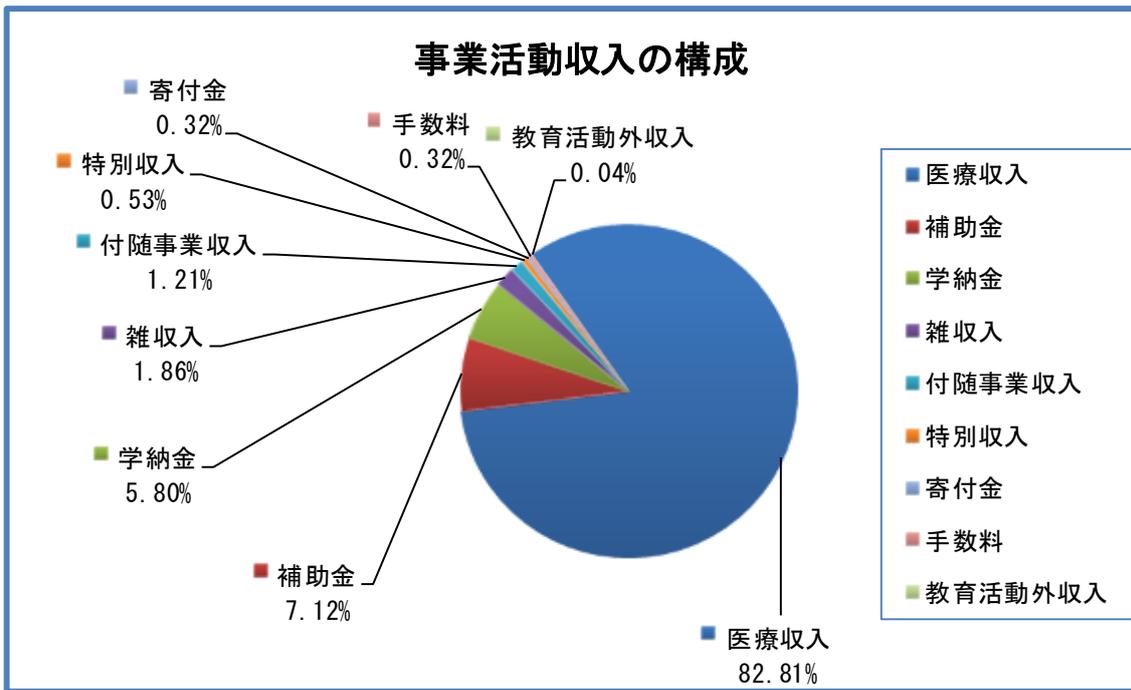
(参考)

事業活動収入計(Q)	73,304	71,684	78,949	1,620	▲ 5,645
事業活動支出計(R)	77,063	76,473	71,266	590	5,797

この結果、事業活動収支差額は、前年度を11,442百万円下回る▲3,759百万円(K)となりました。

また、長期的収支均衡の指標となる翌年度繰越収支差額は、▲58,049百万円(P)となっています。

なお、成長性の指標の一つである事業活動収入は前年度を5,645百万円下回り73,304百万円(Q)となりました。



## (4) 貸借対照表の概要

貸借対照表は、B/S(バランスシート)ともいわれ、年度末における法人の資産・負債・純資産の全てを表示し、法人の財政状態を表します。固定資産や流動資産といった財産の運用形態と、その調達源泉を示しています。負債は、将来返さなければならない他人のお金であり、純資産は、返す必要のない法人の自己資金にあたります。(事業活動収支計算書における基本金組入前当年度収支差額(従来の帰属収支差額)は、前年度末と当該年度末の自己資金の増減と一致します。)

単位(百万円)

(資産の部)	本年度末	前年度末	増減	(負債および純資産の部)	本年度末	前年度末	増減
固定資産	86,850	67,132	19,718	固定負債	53,347	34,381	18,966
有形固定資産	70,624	52,213	18,411	長期借入金	40,461	21,746	18,715
土地・建物・構築物	98,334	64,404	33,930	退職給与引当金	12,879	12,625	254
機器備品	29,778	23,420	6,358	その他の負債	7	10	▲3
その他の資産	4,150	24,058	▲19,908	流動負債	24,574	14,466	10,108
減価償却累計額	▲61,638	▲59,669	▲1,969	短期借入金	285	285	0
特定資産	12,035	12,035	0	未払金	22,439	12,369	10,070
その他の固定資産	4,191	2,884	1,307	その他の負債	1,850	1,812	38
有価証券	116	114	2	負債の部合計	77,921	48,847	29,074
収益事業元入金	111	111	0	基本金	99,699	95,795	3,904
その他の資産	3,964	2,659	1,305	1号基本金	93,578	90,736	2,842
				2号基本金	0	0	0
流動資産	32,721	27,124	5,597	3号基本金	507	507	0
現金・預金	17,890	9,368	8,522	4号基本金	5,614	4,552	1,062
その他の資産	14,831	17,756	▲2,925	繰越収支差額	▲58,049	▲50,386	▲7,663
				純資産の部合計	41,650	45,409	▲3,759
合計	119,571	94,256	25,315	合計	119,571	94,256	25,315

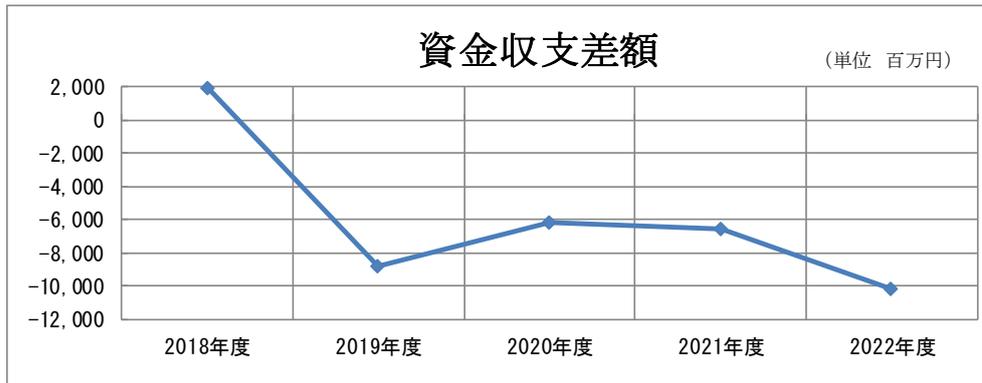
(5) 財務比率などの推移

① 資金収支差額推移表

(単位 百万円)

勘定科目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
学納金	4,282	4,299	4,311	4,311	4,252
補助金	2,822	2,723	13,122	8,833	5,378
医療収入	56,303	58,557	54,286	60,423	60,701
その他	5,223	2,409	1,363	10,005	9,933
資金収入計	68,630	67,988	73,082	83,572	80,264
人件費	28,402	28,924	29,261	30,761	31,656
教育研究経費	2,924	3,280	2,795	2,641	3,151
医療経費	29,119	31,124	30,757	32,884	35,855
その他	6,219	13,439	16,394	23,871	19,795
資金支出計	66,664	76,767	79,207	90,157	90,457
資金収支差額	1,966	△ 8,779	△ 6,125	△ 6,585	△ 10,193

※繰越支払資金・借入金収入及び返済支出は含まず



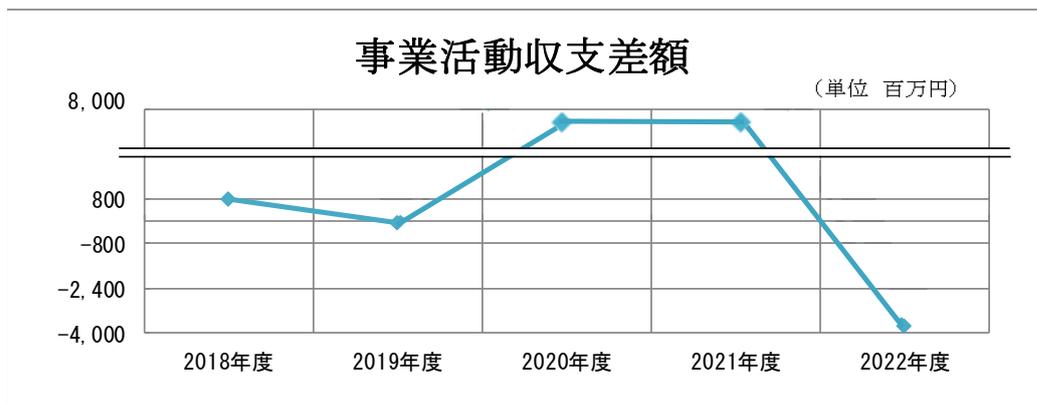
② 事業活動収支差額推移表

(単位 百万円)

勘定科目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
学納金	4,282	4,299	4,311	4,311	4,252
補助金	2,822	2,723	13,122	8,833	5,378
医療収入	56,303	58,557	54,286	60,423	60,701
その他	2,746	3,244	3,897	5,382	2,973
事業活動収入計	66,153	68,823	75,616	78,949	73,304
人件費	28,601	29,075	29,564	30,978	31,881
教育研究経費	3,390	3,757	3,262	3,122	3,553
医療経費	31,049	33,183	32,812	35,122	38,787
その他	2,339	2,844	2,397	2,044	2,842
事業活動支出計	65,379	68,859	68,035	71,266	77,063
事業活動収支差額	774	△ 36	7,581	7,683	△ 3,759

※事業活動収支差額

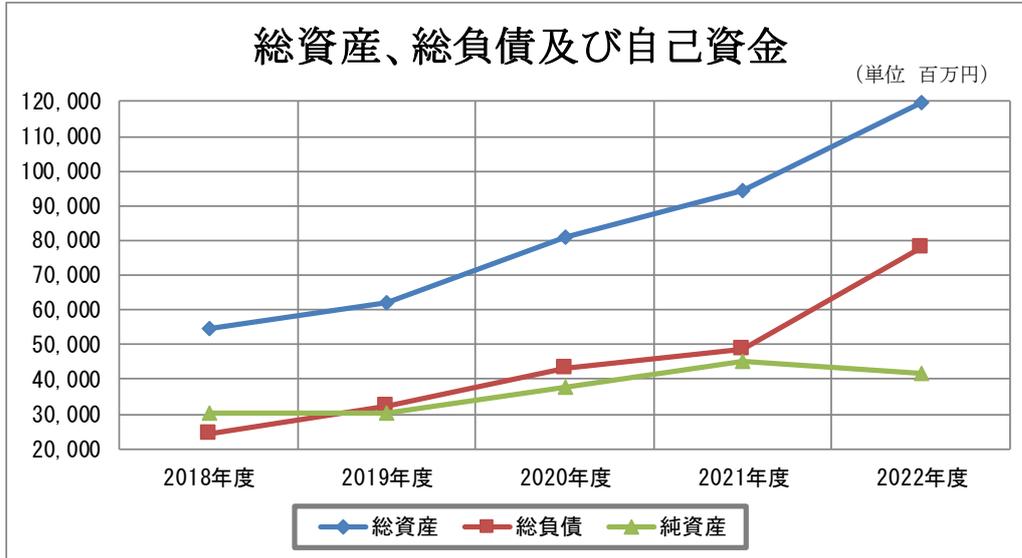
= 事業活動収入 - 事業活動支出



③財政状況表

(単位 百万円)

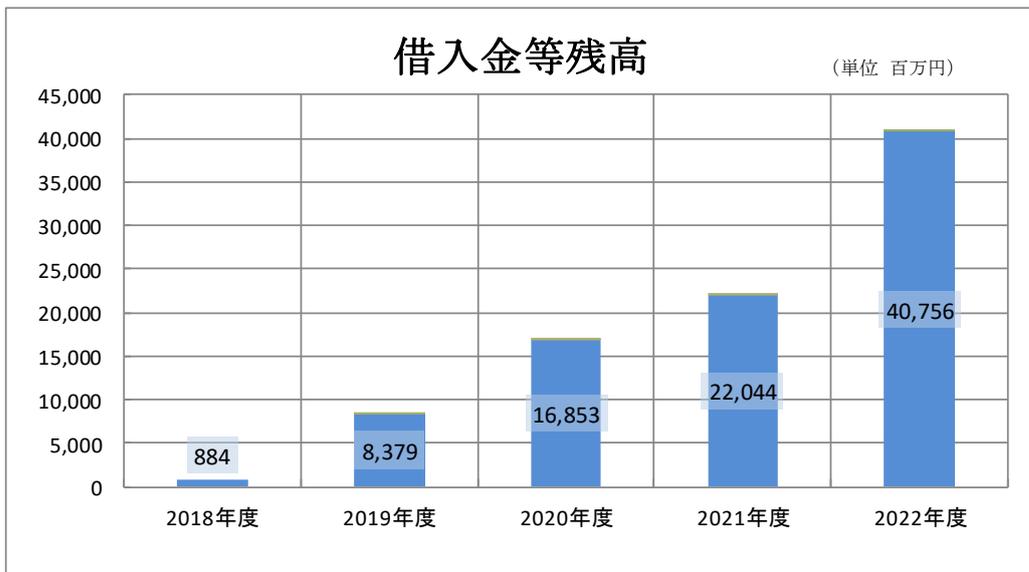
科目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
固定資産	36,459	42,985	56,016	67,132	86,850
流動資産	18,106	19,288	25,101	27,124	32,721
総資産	54,565	62,273	81,117	94,256	119,571
固定負債	12,743	20,397	28,688	34,381	53,347
流動負債	11,641	11,731	14,703	14,466	24,574
総負債	24,384	32,128	43,391	48,847	77,921
純資産	30,181	30,145	37,726	45,409	41,650



④借入金等残高推移表

(単位 百万円)

科目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
借入金	884	8,360	16,837	22,031	40,746
学校債	0	0	0	0	0
割賦	0	19	16	13	10
合計	884	8,379	16,853	22,044	40,756



⑤財務比率一覧

2018年度からの計算書関連比率表

(1)貸借対照表関係比率

No.	比率名	算式	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	指標
1	固定資産構成比率	固定資産／総資産	66.8%	69.0%	69.1%	71.2%	72.6%	↑
2	有形固定資産構成比率	有形固定資産／総資産	59.9%	63.0%	54.4%	55.4%	59.1%	↑
3	特定資産構成比率	特定資産／総資産	3.1%	1.6%	11.4%	12.8%	10.1%	↓
4	流動資産構成比率	流動資産／総資産	33.2%	31.0%	30.9%	28.8%	27.4%	↓
5	固定負債構成比率	固定負債／(総負債＋純資産)	23.4%	32.8%	35.4%	36.5%	44.6%	↓
6	流動負債構成比率	流動負債／(総負債＋純資産)	21.3%	18.8%	18.1%	15.3%	20.6%	↓
7	内部留保資産比率	(運用資産－総負債)／総資産	-23.4%	-36.3%	-28.6%	-29.0%	-40.0%	↓
8	運用資産余裕比率	(運用資産－外部負債)／経常支出	0.1%	-12.7%	-13.2%	-18.1%	-43.1%	↓
9	純資産構成比率	純資産／(総負債＋純資産)	55.3%	48.4%	46.5%	48.2%	34.8%	↓
10	繰越収支差額構成比率	繰越収支差額／(総負債＋純資産)	-116.4%	-104.0%	-68.3%	-53.5%	-48.5%	↑
11	固定比率	固定資産／純資産	120.8%	142.6%	148.5%	147.8%	208.5%	↑
12	固定長期適合率	固定資産／(純資産＋固定負債)	84.9%	85.0%	84.3%	84.1%	91.4%	↑
13	流動比率	流動資産／流動負債	155.5%	164.4%	170.7%	187.5%	133.2%	↓
14	総負債比率	総負債／総資産	44.7%	51.6%	53.5%	51.8%	65.2%	↓
15	負債比率	総負債／純資産	80.8%	106.6%	115.0%	107.6%	187.1%	↓
16	前受金保有率	現金預金／前受金	1134.3%	935.7%	1236.9%	1043.7%	1901.0%	↑
17	退職給与引当特定資産保有率	退職給与引当特定資産／退職給与引当金	-	-	-	-	-	-
18	基本金比率	基本金／基本金要組入額	99.7%	92.9%	87.3%	81.8%	71.1%	↓
19	減価償却比率	減価償却累計額／減価償却資産取得価額	70.1%	70.7%	71.1%	72.2%	50.6%	↓
20	積立率	運用資産／要積立額	16.1%	13.0%	27.5%	28.5%	38.5%	↑

・運用資産＝現金預金＋特定資産＋有価証券

・要積立額＝減価償却累計額(ソフトウェア等含む)＋退職給与引当金＋2号基本金＋3号基本金

(2)事業活動収支計算書関係比率

No.	比率名	算式	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	指標
1	人件費比率	人件費／経常収入	43.35%	42.60%	39.72%	39.76%	43.72%	↓
2	人件費依存率	人件費／学生生徒等納付金	667.89%	676.42%	685.83%	718.58%	749.75%	↓
3	教育研究経費比率	教育研究経費／経常収入	52.20%	54.12%	48.47%	49.09%	58.07%	↑
4	管理経費比率	管理経費／経常収入	3.32%	3.60%	2.93%	2.49%	3.67%	↓
5	借入金等利息比率	借入金等利息／経常収入	0.05%	0.06%	0.09%	0.10%	0.14%	↓
6	事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額／事業活動収入	1.17%	-0.05%	10.03%	9.73%	-5.13%	↓
7	基本金組入後収支比率	事業活動支出／(事業活動収入－基本金組入額)	100.82%	102.04%	90.22%	93.47%	111.24%	↓
8	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金／経常収入	6.49%	6.30%	5.79%	5.53%	5.83%	↓
9	寄付金比率	寄付金／事業活動収入	0.69%	1.17%	0.61%	0.54%	0.61%	↑
10	経常寄付金比率	教育活動収支の寄付金／経常収入	0.55%	0.43%	0.45%	0.34%	0.32%	↓
11	補助金比率	補助金／事業活動収入	4.27%	3.96%	17.35%	11.19%	7.34%	↓
12	経常補助金比率	教育活動収支の補助金／経常収入	4.19%	3.91%	16.21%	10.21%	7.16%	↓
13	基本金組入率	基本金組入額／事業活動収入	1.97%	1.95%	0.27%	3.42%	5.49%	↓
14	減価償却額比率	減価償却額／経常支出	3.60%	3.71%	3.71%	3.69%	3.96%	↓
15	経常収支差額比率	経常収支差額／経常収入	1.07%	-0.41%	8.76%	8.54%	-5.61%	↓
16	教育活動収支差額比率	教育活動収支差額／教育活動収入計	1.06%	-0.40%	7.25%	5.53%	-5.51%	↓

(注) ・経常収入＝教育活動収入計＋教育活動外収入計

・経常支出＝教育活動支出計＋教育活動外支出計

(3)活動区分資金収支計算書関係比率

No.	比率名	算式	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	指標
1	教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額／教育活動資金収入計	7.91%	0.89%	7.59%	9.77%	3.58%	↓

(注)教育活動資金収支差額＝教育活動資金収入計－教育活動資金支出計＋教育活動調整勘定等

### 3. 収益事業会計（多摩病院）

#### (1) 貸借対照表

（資産の部）	本年度末	前年度末	増減	（負債および純資産の部）	本年度末	前年度末	増減
流動資産	3,433	5,116	▲ 1,683	流動負債	2,909	4,539	▲ 1,630
現金・預金	821	769	52	未払金他	2,909	4,539	▲ 1,630
未収入金	2,504	4,240	▲ 1,736	固定負債	2,067	2,034	33
その他	108	107	1	退職給与引当金	2,067	2,034	33
固定資産	1,426	1,568	▲ 142	負債の部合計	4,976	6,573	▲ 1,597
有形固定資産	2,833	2,748	85	純資産	▲ 117	111	▲ 228
減価償却累計額	▲ 1,454	▲ 1,219	▲ 235	元入金	111	111	0
その他	47	39	8	繰越利益剰余金	▲ 228	0	▲ 228
			0	純資産の部合計	▲ 117	111	▲ 228
合 計	4,859	6,684	▲ 1,825	合 計	4,859	6,684	▲ 1,825

#### (2) 損益計算書

		2022決算 ①	2022補正 ②	2021決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収 益	医 療 収 入	9,339	9,316	8,895	23	444
	補 助 金	3,323	3,788	4,818	▲ 465	▲ 1,495
	そ の 他	175	160	191	15	▲ 16
	小 計	12,837	13,264	13,904	▲ 427	▲ 1,067
費 用	医 療 経 費	4,612	4,681	4,064	▲ 69	548
	人 件 費	5,606	5,539	5,498	67	108
	( 医 師 )	(1,192)	(1,149)	(1,199)	(43)	(▲ 7)
	負 担 金	727	727	723	0	4
	そ の 他	2,120	2,317	3,619	▲ 197	▲ 1,499
	小 計	13,065	13,264	13,904	▲ 199	▲ 839
当期純利益		▲ 228	0	0	▲ 228	▲ 228

川崎市立多摩病院における診療活動は、収益事業として、学校法人会計から経理を区分しています。

医師の人件費が100%計上される収益事業会計は、当期純利益が▲228百万円であったため、学校法人へ繰入れを行わず、利益剰余金として繰り越しました。その結果、期末純資産は元入金の111百万円と合算した▲117百万円となります。

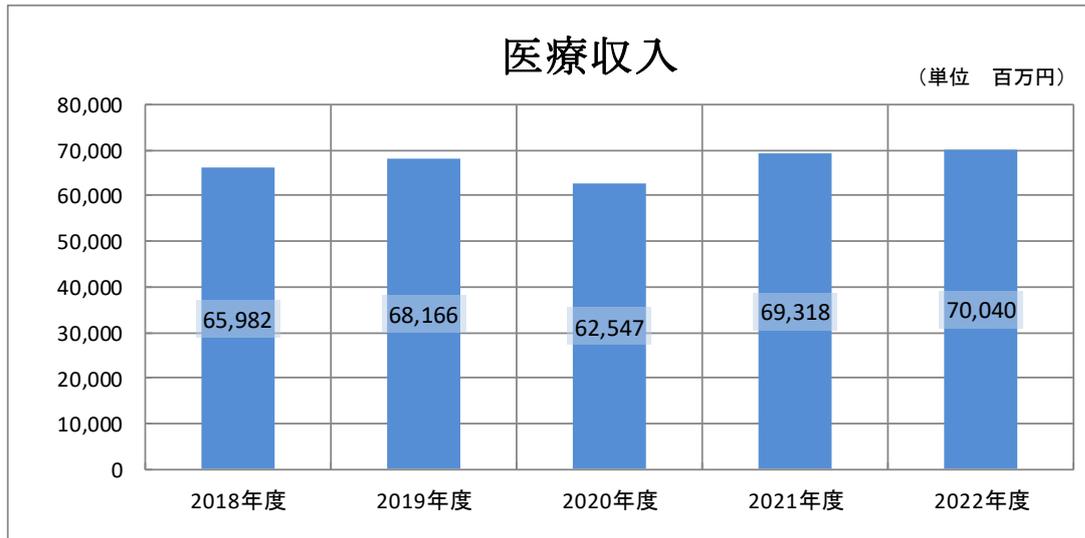
#### 4. 附属病院等の状況

##### (1) 医療収入推移表

(単位 百万円)

部 門	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
大 学 病 院	36,691	38,446	37,326	40,265	40,214
東 横 病 院	3,460	3,786	3,585	3,708	3,555
西 部 病 院	15,293	15,191	12,226	15,270	15,812
B&I先端医療センター 附 属 クリニッ ク	859	1,134	1,149	1,180	1,120
多 摩 病 院	9,679	9,609	8,261	8,895	9,339
※ 合 計	65,982	68,166	62,547	69,318	70,040

※医療収入合計額は収益事業会計(多摩病院)を含めているため事業活動収支計算書の医療収入額とは一致しません

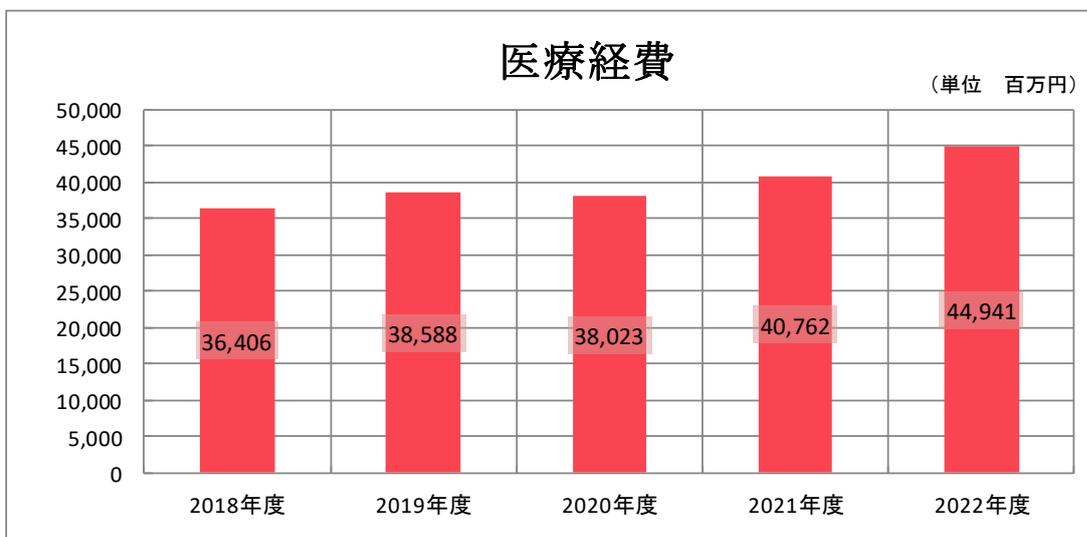


##### (2) 医療経費推移表

(単位 百万円)

部 門	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
大 学 病 院	19,353	20,550	20,841	22,053	25,292
東 横 病 院	1,955	2,105	1,927	1,948	1,926
西 部 病 院	9,081	9,631	9,139	10,213	10,671
B&I先端医療センター 附 属 クリニッ ク	659	897	905	908	898
多 摩 病 院	5,358	5,405	5,211	5,640	6,154
※ 合 計	36,406	38,588	38,023	40,762	44,941

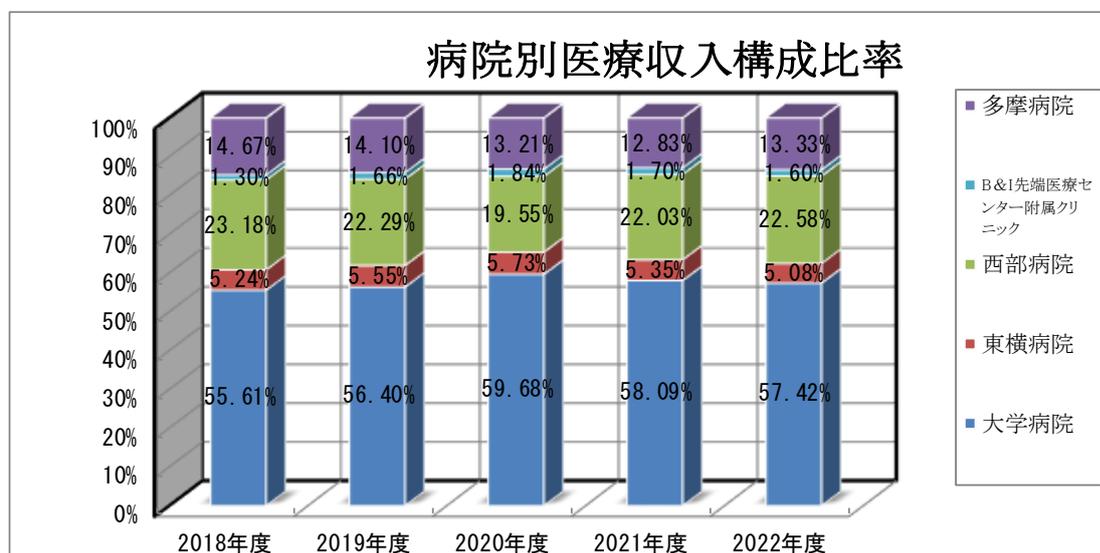
※医療経費合計額は収益事業会計(多摩病院)を含めているため事業活動収支計算書の医療経費額とは一致しません



### (3) 病院別医療収入構成比率推移表

部門	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
大学病院	55.61%	56.40%	59.68%	58.09%	57.42%
東横病院	5.24%	5.55%	5.73%	5.35%	5.08%
西部病院	23.18%	22.29%	19.55%	22.03%	22.58%
B&I先端医療センター附属クリニック	1.30%	1.66%	1.84%	1.70%	1.60%
多摩病院	14.67%	14.10%	13.21%	12.83%	13.33%
※合計	100%	100%	100%	100%	100%

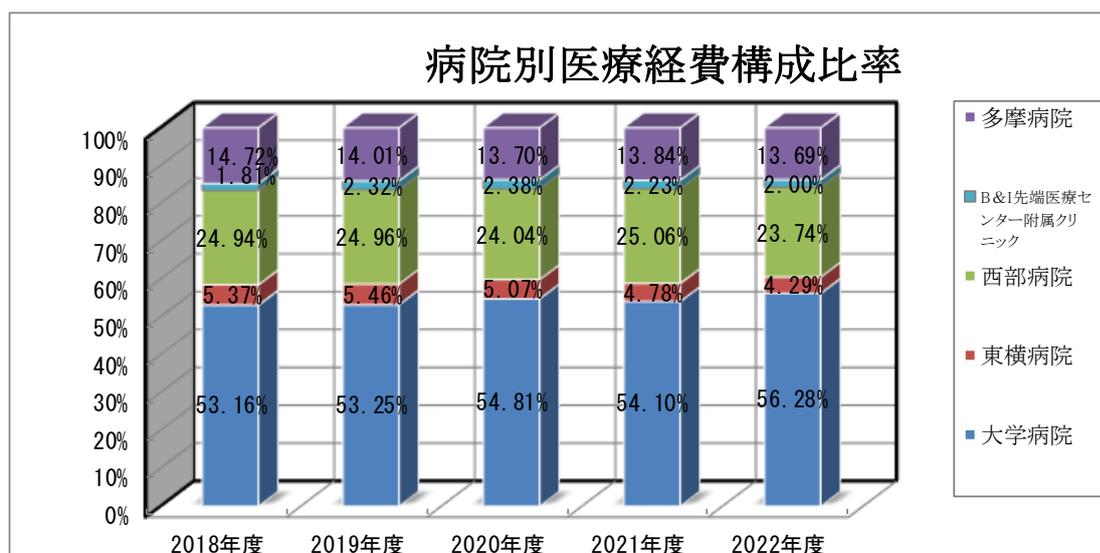
※医療収入構成比率は収益事業会計(多摩病院)を含めているため資金収支計算書及び事業活動収支計算書の医療収入構成比率とは一致しません



### (4) 病院別医療経費構成比率推移表

部門	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
大学病院	53.16%	53.25%	54.81%	54.10%	56.28%
東横病院	5.37%	5.46%	5.07%	4.78%	4.29%
西部病院	24.94%	24.96%	24.04%	25.06%	23.74%
B&I先端医療センター附属クリニック	1.81%	2.32%	2.38%	2.23%	2.00%
多摩病院	14.72%	14.01%	13.70%	13.84%	13.69%
※合計	100%	100%	100%	100%	100%

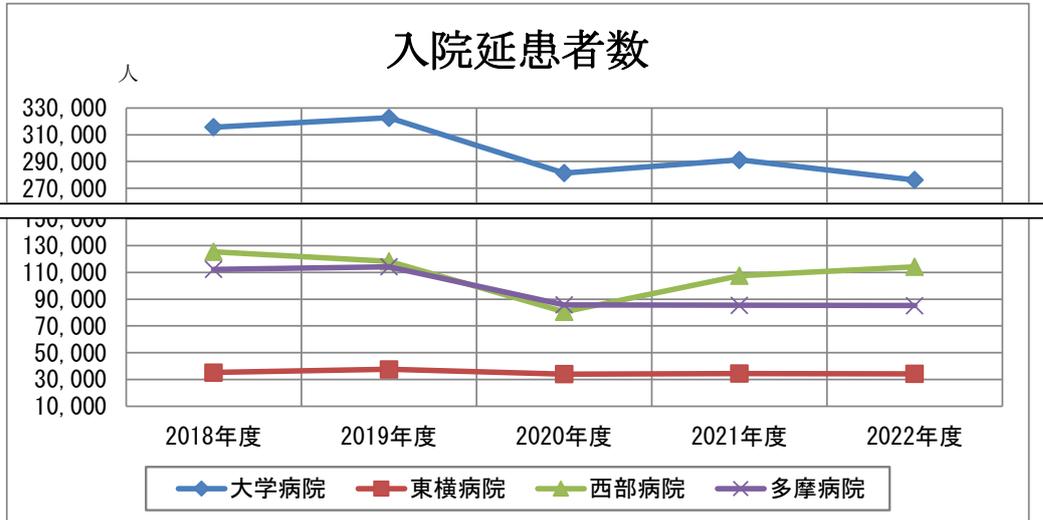
※医療経費構成比率は収益事業会計(多摩病院)を含めているため事業活動収支計算書の医療経費構成比率とは一致しません



(5) 病院別入院延患者数

(単位 人)

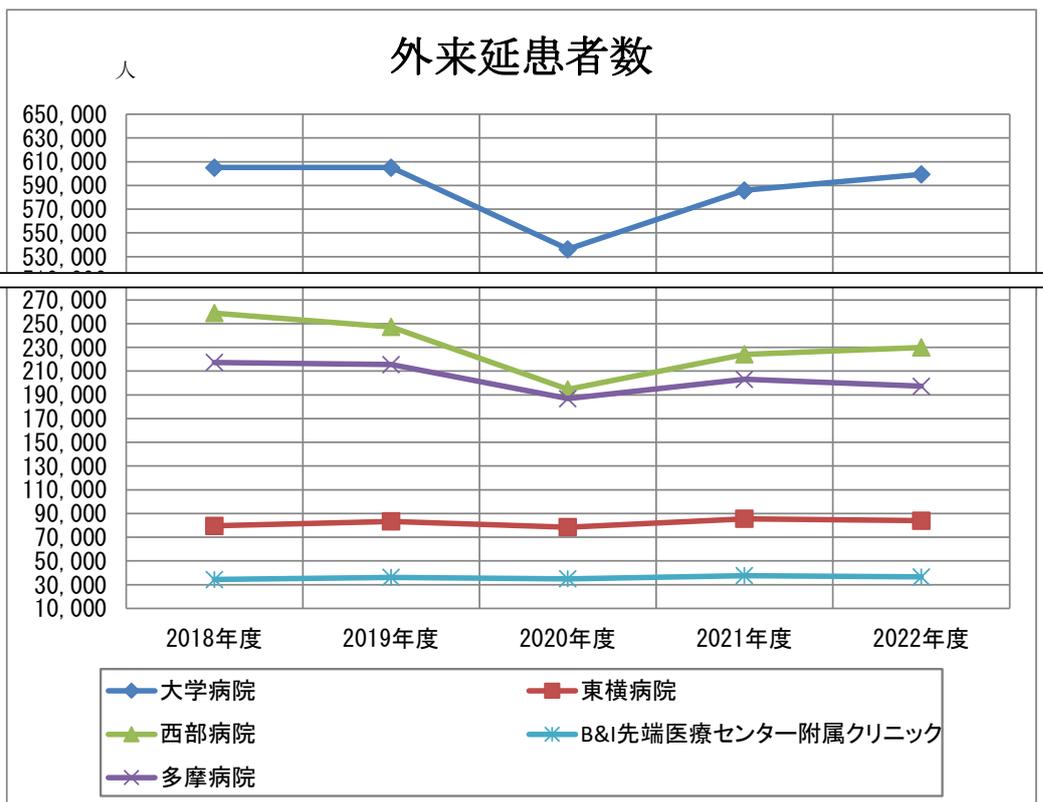
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
大学病院	315,653	322,651	281,407	291,224	276,215
東横病院	35,239	37,538	34,004	34,406	34,244
西部病院	125,510	118,318	80,568	107,594	114,226
多摩病院	112,355	114,205	85,797	85,463	85,225
合 計	588,757	592,712	481,776	518,687	509,910



(6) 病院別外来延患者数

(単位 人)

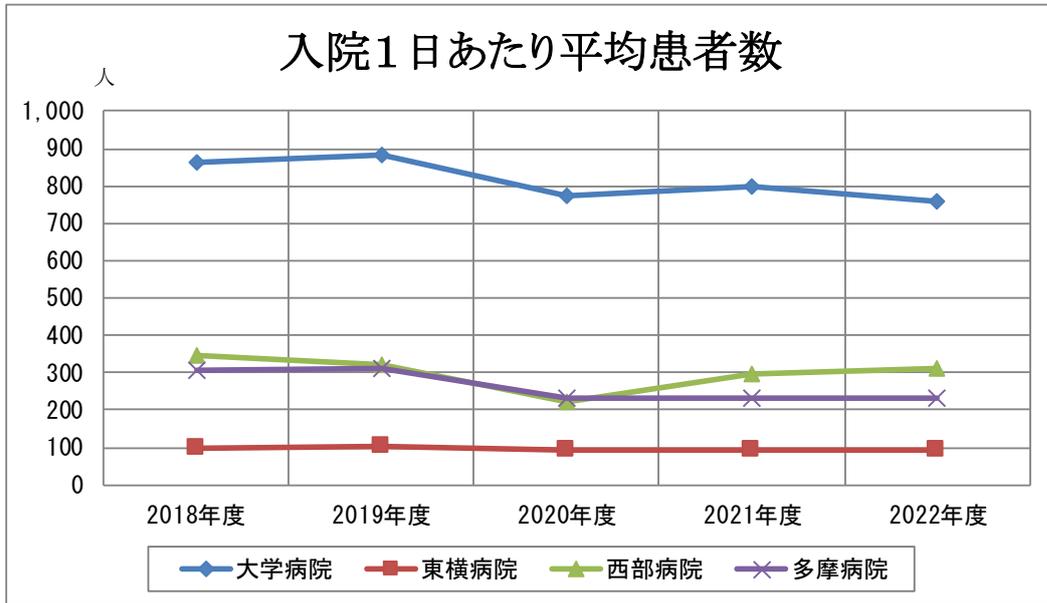
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
大学病院	605,073	605,092	536,297	585,907	599,455
東横病院	79,628	83,324	78,503	85,556	83,951
西部病院	258,904	247,187	194,533	224,186	229,983
B&I先端医療センター 附属クリニック	34,347	36,206	34,968	37,659	36,512
多摩病院	217,333	215,483	186,755	203,135	197,226
合 計	1,195,285	1,187,292	1,031,056	1,136,443	1,147,127



(7) 病院別入院1日あたり平均患者数

(単位 人)

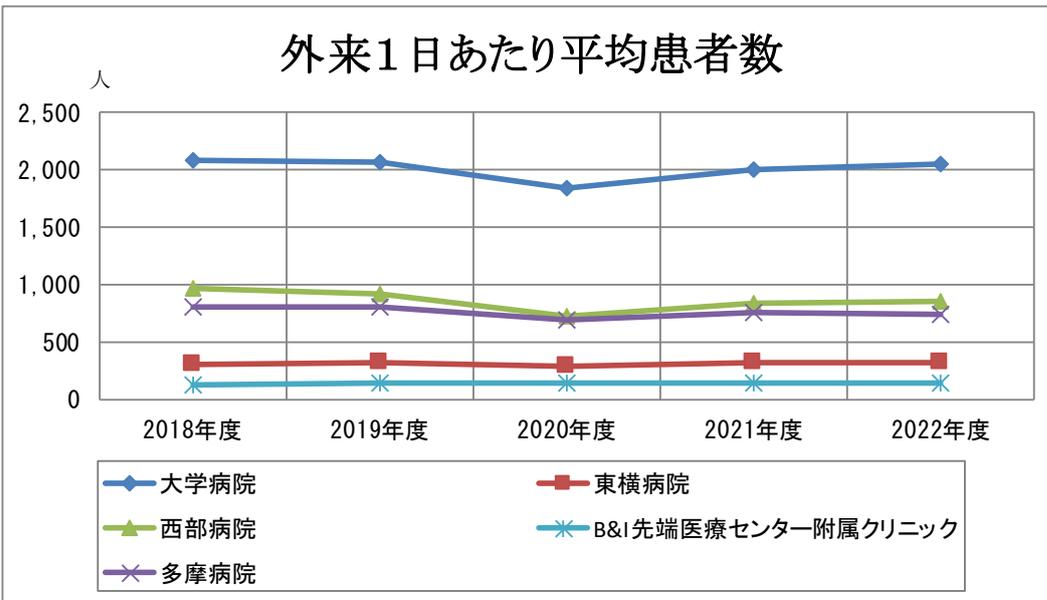
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
大学病院	865	882	771	798	757
東横病院	97	103	93	94	94
西部病院	344	323	221	295	313
多摩病院	308	312	234	234	233



(8) 病院別外来1日あたり平均患者数

(単位 人)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
大学病院	2,079	2,065	1,837	2,007	2,053
東横病院	296	310	291	318	313
西部病院	963	922	721	833	858
B&I先端医療センター附属クリニック	128	134	134	140	136
多摩病院	808	804	692	755	736



## 所在地

学校法人 聖マリアンナ医科大学

〒 216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1

TEL 044-977-8111(代)

聖マリアンナ医科大学

〒 216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1

TEL 044-977-8111(代)

聖マリアンナ医科大学病院

〒 216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1

TEL 044-977-8111(代)

聖マリアンナ医科大学東横病院

〒 211-0063 川崎市中原区小杉町 3-435

TEL 044-722-2121(代)

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

〒 241-0811 横浜市旭区矢指町 1197-1

TEL 045-366-1111(代)

川崎市立多摩病院（指定管理者病院）

〒 214-8525 川崎市多摩区宿河原 1-30-37

TEL 044-933-8111(代)

聖マリアンナ医科大学看護専門学校

〒 216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1

TEL 044-977-8111(代)

聖マリアンナ医科大学附属研究所 ブレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

〒 215-0004 川崎市麻生区万福寺 6-7-2 3階・4階

TEL 044-969-7720(代)

ホームページ <https://www.marianna-u.ac.jp/>